

# 岩手県不動産市場動向に 関するアンケート調査結果

第24回調査（令和4年10月1日時点）

令和5年1月

一般社団法人 岩手県宅地建物取引業協会

公益社団法人 全日本不動産協会岩手県本部

一般社団法人 岩手県不動産鑑定士協会

## 岩手県不動産市場動向に関する第24回アンケート調査の実施によせて

平素は、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

東日本大震災を契機に3協会の共同で始めました岩手県不動産市場動向に関するアンケート調査（第24回）結果の概要は以下のとおりです。

- ① 住宅地については、価格DIは実感・予測ともに県央部、内陸北部及び内陸南部がプラス、沿岸北部及び沿岸南部はマイナス。  
取引件数DIは、内陸北部がプラス、他の地域はマイナス。予測では県央部及び内陸北部がプラス、他の地域はマイナス。
- ② 商業地については、価格DIは県央部及び内陸北部がプラス、他の地域はマイナス。予測では県央部、内陸北部及び内陸南部がプラス、沿岸北部及び沿岸南部はマイナス。  
取引件数DIは、内陸北部がプラス、他の地域はマイナス。予測では県央部及び内陸北部が横ばい、他の地域はマイナス。
- ③ 中古住宅については、価格DIは県央部及び内陸北部がプラス、他の地域はマイナス。予測では県央部、内陸北部及び内陸南部がプラス、沿岸北部及び沿岸南部はマイナス。  
取引件数DIは、県央部及び内陸北部がプラス、他の地域はマイナス。予測では内陸南部以外がプラス、内陸南部がマイナス。
- ④ 近年頻発している自然災害の影響や、水害リスク情報の重要事項説明の義務化により、需要者側において被災想定区域等が意識されている旨の回答が多く寄せられた。

①②について、住宅地価格DI・商業地価格DIは、県央部、内陸北部及び内陸南部がプラス、またはマイナス幅を縮小させた一方、沿岸北部及び沿岸南部ではマイナスが継続しており、復興関連事業の完了によって、需要の低迷が顕在化した状況が見られました。

③について、中古住宅価格DIは、住宅地価格DI・商業地価格DIと同様の傾向であるものの、沿岸北部及び沿岸南部のマイナス幅はやや縮小しました。また、中古住宅取引件数DIの半年後の予測では、内陸南部を除く全ての地域でプラスとなり、新築コストの上昇によって、中古住宅に需要が移転している傾向が見られました。

④について、近年頻発している自然災害の影響や、水害リスク情報の重要事項説明の義務化によって、需要者側においても被災想定区域等が意識されている旨の回答が多く寄せられました。

その他、盛岡市を中心とする県央部では大手ハウスメーカーの進出が顕著であること、北上市を中心とする内陸南部では、大型工場の進出によって賃貸住宅の需要が増加していること、などの地域別の特徴を反映した回答が多く寄せられました。

3協会では、当アンケート調査が、復興の推進、市場関係者の意思決定に資するものとなるよう、改善を施しながら継続していきたいと考えておりますので、今後とも、当該調査活動にご理解とご支援を賜ります様お願い申し上げます。最後に、ご業務のなか貴重なお時間を割いて当調査にご理解とご協力を下さいました会員の皆様に、心より感謝いたします。

令和5年1月

一般社団法人 岩手県宅地建物取引業協会  
会長 多田 幸司

公益社団法人 全日本不動産協会岩手県本部  
本部長 浅沼 儀洋

一般社団法人 岩手県不動産鑑定士協会  
会長 東野 成紀

# 目 次

〔1〕 岩手県不動産市場動向調査の概要	1
1. アンケート調査の概要	1
2. 動向判断指数（DI）等について	3
3. アンケート調査票	4
〔2〕 アンケート集計結果	6
1. 調査結果の概要と動向判断指数（DI）による分析	6
(1) 調査結果の概要	6
(2) 動向判断指数（DI）による分析	12
2. 設問ごとの回答内訳	18
問3 取引価格の6ヶ月前（R4.4.1時点）との比較	18
問4 6ヶ月後の取引価格の予測	20
問5 取引件数の6ヶ月前（R4.4.1時点）との比較	22
問6 6ヶ月後の取引件数の予測	24
問7 賃料の6ヶ月前（R4.4.1時点）との比較	26
問8 入居率の6ヶ月前（R4.4.1時点）との比較	27
お問い合わせ窓口等	28

# 〔1〕岩手県不動産市場動向調査の概要

## 1. アンケート調査の概要

一般社団法人岩手県宅地建物取引業協会、公益社団法人全日本不動産協会岩手県本部及び一般社団法人岩手県不動産鑑定士協会の三者共同で、令和4年4月1日（第23回調査時点）から令和4年10月1日（第24回調査時点）までの6ヶ月間の不動産市場の推移に関する実感と、この先6ヶ月間（R4.10.1～R5.4.1）の市場動向に関する予測、不動産市場の特徴的な動き、国・県・市町村等に対する要望・意見等についてアンケート調査を実施した。アンケートの対象は一般社団法人岩手県宅地建物取引業協会及び公益社団法人全日本不動産協会岩手県本部の会員である。

なお、本調査は3ページのとおり定性調査であり、具体の取引件数、成約価格等の定量調査ではない。

- (1) 実施時期 令和4年10月
- (2) 調査方法 一般社団法人岩手県宅地建物取引業協会及び公益社団法人全日本不動産協会岩手県本部の会員に対するアンケート調査
- (3) 発送数 716
- (4) 回収数 197 (回収率：27.5%)
- (5) 地域区分 沿岸北部、沿岸南部、県央部、内陸北部、内陸南部の5つに地域区分し集計した。

問1：回答者の主な営業地域

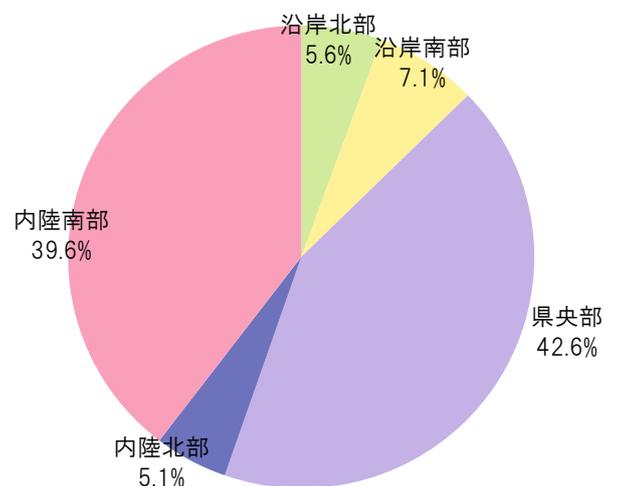
〈各市町村の地域区分〉



地域区分	地区名	発送数	回答数	回収率
	沿岸北部	51	11	21.6%
	沿岸南部	40	14	35.0%
	県央部	361	84	23.3%
	内陸北部	27	10	37.0%
	内陸南部	237	78	32.9%
	合計	716	197	27.5%

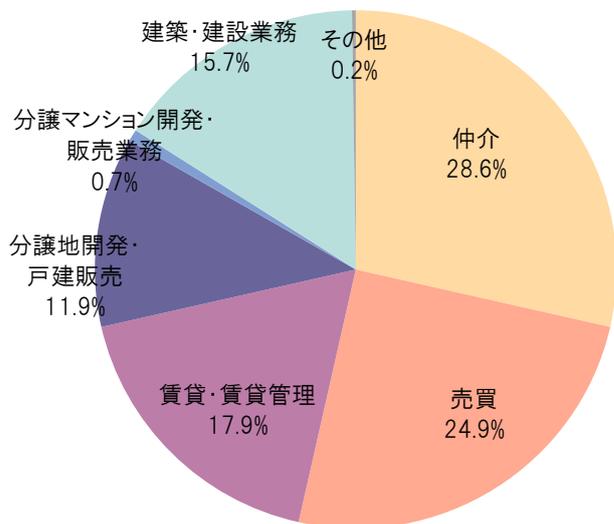
※回収率は、発送数を事務所所在地を基準とし、回答数は、主な営業地域により計算している。

〈回答者の主な営業地域〉



問2：回答者の主な業務

＜回答者の主な業務＞

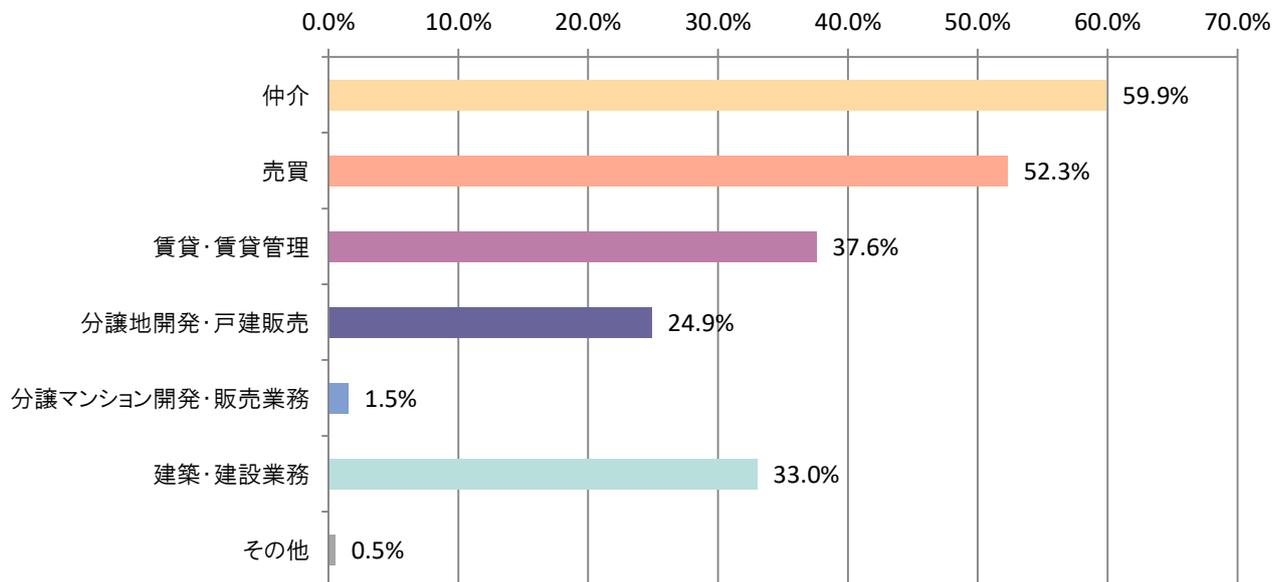


主な業務についての回答	
回答の有無	回答数
回答あり	197
回答なし	0
合計	197

主な業務	回答数
仲介	118
売買	103
賃貸・賃貸管理	74
分譲地開発・戸建販売	49
分譲マンション開発・販売業務	3
建築・建設業務	65
その他	1
合計	413

(複数回答あり)

回答者の主な業務の回答割合(主な業務の回答数÷回答ありの回答数)



仲介、売買を主な業務としている会員が多い。

## 2. 動向判断指数（DI）等について

### （1）動向判断指数（DI）

#### ① DIとは

DIとは、Diffusion Index（ディフュージョン・インデックス）の略で、現状や先行きの見通し等についての定性的な判断を指標として集計加工した指数であり、経済指標等において広く活用されている。

本調査においては、DIとして指数化することにより調査項目の時系列把握や地域間比較を行ったりすることが容易となる。

### 2 DIの算出方法

本調査におけるDIの算出方法は、各判断項目について上昇（増加）から下落（減少）までの5段階または3段階の選択肢を用意し、選択肢毎の回答数を単純集計して全回答数に対する構成比率を求め、次式により算出する。

<算出方法（5段階の例）>

住宅地の地価	大きく上昇	やや上昇	横ばい	やや下落	大きく下落	不明 無回答
回答数	A	B	C	D	E	F

$$DI = \{ (A \times 2) + (B \times 1) + (D \times -1) + (E \times -2) \} \div 2 \div (A + B + C + D + E) \times 100$$

<算出方法（3段階の例）>

建築資材の価格	上昇	横ばい	下落	不明 無回答
回答数	A	B	C	D

$$DI = (A - C) \div (A + B + C) \times 100$$

※DIが0.0以上となれば回答者は市況に対して前向きに考えていると言え、理論上のDIの幅は、プラスマイナス100の範囲となる。

### （2）中央値

中央値とは、データを大きさの順に並べたとき、全体の中央にくる値、データの数が偶数の時は、中央にある二つの値の平均値。

### 3. アンケート調査票

#### 岩手県不動産市場動向アンケート(第24回)

■問1 県内における御社(支店・営業所の場合は当該支店・営業所)の主な営業地域についてお聞かせ下さい。

(最も取引件数の多い市町村をひとつ選んで○をつけるか、【】内に記載してください。例：奥州市江刺、一関市大東町等)

- 1.盛岡市 2.八幡平市 3.滝沢市 4.紫波町 5.矢巾町 6.雫石町 7.岩手町 8.葛巻町 9.花巻市 10.遠野市 11.北上市  
 12.西和賀町 13.奥州市 14.金ヶ崎町 15.一関市 16.平泉町 17.久慈市 18.洋野町 19.野田村 20.普代村  
 21.田野畑村 22.二戸市 23.一戸町 24.軽米町 25.九戸村 26.宮古市 27.釜石市 28.大槌町 29.岩泉町  
 30.山田町 31.大船渡市 32.陸前高田市 33.住田町 【 】

■問2 御社(支店・営業所の場合は当該支店・営業所)の主な営業業務についてお聞かせ下さい。  
 (○印をお願いします。複数回答可)

- 1.仲介業務 2.売買業務 3.賃貸・賃貸管理業務 4.分譲地開発・戸建販売業務  
 5.分譲マンション開発・販売業務 6.建築・建設業務 7.その他( )

以下、設問3～8は、調査・集計の性格上、可能な限り1～5の選択肢でのご回答をお願いします。地域によっては、取扱いがない、もしくは極めて少ない不動産(例：産業用地)の場合、「6.不明」の場合もあるかと思います。

■問3 現在(R4.10.1時点)の主な営業地域の取引価格は、6カ月前(R4.4.1時点)と比較してどのように感じていますか？

- 住宅地の地価： 1.大きく上昇 2.やや上昇 3.横ばい 4.やや下落 5.大きく下落 6.不明  
 商業地の地価： 1.大きく上昇 2.やや上昇 3.横ばい 4.やや下落 5.大きく下落 6.不明  
 産業用地の地価： 1.大きく上昇 2.やや上昇 3.横ばい 4.やや下落 5.大きく下落 6.不明  
 中古住宅の価格： 1.大きく上昇 2.やや上昇 3.横ばい 4.やや下落 5.大きく下落 6.不明

※1 産業用地は、工場・倉庫・物流施設用地、資材置場用地等についてご回答をお願いします、以下同様です。

■問4 6カ月後(R5.4.1時点)の主な営業地域の取引価格は、現在(R4.10.1時点)と比較してどうなると予測しますか？

- 住宅地の地価： 1.大きく上昇 2.やや上昇 3.横ばい 4.やや下落 5.大きく下落 6.不明  
 商業地の地価： 1.大きく上昇 2.やや上昇 3.横ばい 4.やや下落 5.大きく下落 6.不明  
 産業用地の地価： 1.大きく上昇 2.やや上昇 3.横ばい 4.やや下落 5.大きく下落 6.不明  
 中古住宅の価格： 1.大きく上昇 2.やや上昇 3.横ばい 4.やや下落 5.大きく下落 6.不明

■問5 現在(R4.10.1時点)の主な営業地域での取引件数は、6カ月前(R4.4.1時点)と比較してどのように感じていますか？

- 住宅地の取引： 1.大きく増加 2.やや増加 3.横ばい 4.やや減少 5.大きく減少 6.不明  
 商業地の取引： 1.大きく増加 2.やや増加 3.横ばい 4.やや減少 5.大きく減少 6.不明  
 産業用地の取引： 1.大きく増加 2.やや増加 3.横ばい 4.やや減少 5.大きく減少 6.不明  
 中古住宅の取引： 1.大きく増加 2.やや増加 3.横ばい 4.やや減少 5.大きく減少 6.不明

■問6 6カ月後(R5.4.1時点)の主な営業地域での取引件数は、現在(R4.10.1時点)と比較してどうなると予測しますか？

- 住宅地の取引： 1.大きく増加 2.やや増加 3.横ばい 4.やや減少 5.大きく減少 6.不明  
 商業地の取引： 1.大きく増加 2.やや増加 3.横ばい 4.やや減少 5.大きく減少 6.不明  
 産業用地の取引： 1.大きく増加 2.やや増加 3.横ばい 4.やや減少 5.大きく減少 6.不明  
 中古住宅の取引： 1.大きく増加 2.やや増加 3.横ばい 4.やや減少 5.大きく減少 6.不明

■問7 現在(R4.10.1時点)の賃料は、6カ月前(R4.4.1時点)と比較してどのように感じていますか？

住居系不動産の家賃：  1. 大きく上昇  2. やや上昇  3. 横ばい  4. やや下落  5. 大きく下落  6. 不明

その他不動産の家賃：  1. 大きく上昇  2. やや上昇  3. 横ばい  4. やや下落  5. 大きく下落  6. 不明

■問8 現在(R4.10.1時点)の入居率は、6カ月前(R4.4.1時点)と比較してどのように感じていますか？

住居系不動産の入居率：  1. 大きく上昇  2. やや上昇  3. 横ばい  4. やや低下  5. 大きく低下  6. 不明

その他不動産の入居率：  1. 大きく上昇  2. やや上昇  3. 横ばい  4. やや低下  5. 大きく低下  6. 不明

■問9 営業地域の不動産取引で特徴的なことがありましたら教えてください。

■問10 近年、自然災害が全国的に頻発しており、県内においても豪雨災害等による被害が発生しています。また、貴業界では令和2年8月から水害リスク情報の重要事項説明が義務化されています。自然災害による不動産取引等への影響についてご教示ください。

(記載例：水害ハザードマップについて事前に確認している顧客が増えた。e t c.)

■その他 (先行きの動向予測や、国、県、市町村、当調査等へのご意見・要望などを、ご自由にお書きください。)

以上で質問は終了です。お忙しいところ、ご協力ありがとうございました。本アンケート用紙は、**令和4年10月31日(月)**までに次のFAX番号宛に送信、又は同封の返信用封筒にて返信をお願いいたします。

一般社団法人岩手県不動産鑑定士協会 FAX番号 **019-622-8485**

差し支えなければ、下記についてご回答をお願いいたします。**本アンケートの集計結果の送付を希望される場合は、貴社名・〒番号・ご住所は必ず記載お願いいたします。(タナ版を押して頂ければ結構です。)**

所 属 協 会	<input type="checkbox"/> 一般社団法人 岩手県宅地建物取引業協会
どちらかに○印をつけてください	<input type="checkbox"/> 公益社団法人 全日本不動産協会 岩手県本部
貴社名(営業所・支店名)	
〒 番 号 ・ ご 住 所	
電 話 番 号	
ご 担 当 者	
※ 調 査 結 果 の 送 付	希望する                      希望しない                      ←○印をつけてください

## 〔2〕アンケート集計結果

### 1. 調査結果の概要と動向判断指数（DI）による分析

#### （1）調査結果の概要

##### ■ 住宅地の価格

県央部がプラスを継続、内陸南部が横ばいからプラスに、内陸北部がマイナスからプラスにそれぞれ回復し、半年後の予測でも、県央部、内陸北部及び内陸南部はプラス。一方で、沿岸北部及び沿岸南部は実感・予測ともにマイナス。

過去5回（R2/4、R2/10、R3/4、R3/10、R4/4）から今回調査（R4/10）に至る住宅地価格DI（実感）の推移をみると、沿岸北部が▲32.1⇒▲28.6⇒▲57.1⇒▲32.1⇒▲16.7⇒▲45.5、沿岸南部が▲39.3⇒▲27.3⇒▲25.0⇒▲29.4⇒▲21.9⇒▲28.6と両地域ともに縮小傾向にあったマイナス幅が拡大しており、復興関連事業が完了したことに伴う事業者の撤退などにより、住宅地需要の低迷が顕在化している。

その他の地域は、県央部が1.7⇒10.1⇒11.8⇒19.8⇒30.4⇒30.0と引き続き強含みとなっている。また、内陸北部が▲25.0⇒0.0⇒▲14.3⇒▲8.3⇒▲21.4⇒10.0、内陸南部が▲15.2⇒▲14.8⇒▲4.4⇒▲3.0⇒0.0⇒4.8とそれぞれプラスに回復する結果となっている。

##### ■ 商業地の価格

県央部がプラスを継続、内陸北部がマイナスからプラスに回復、内陸南部がマイナス幅を縮小し、半年後の予測でも、県央部、内陸北部及び内陸南部はプラス。一方で、沿岸北部及び沿岸南部は実感・予測ともにマイナス。

過去5回から今回調査に至る商業地価格DI（実感）の推移をみると、沿岸北部が▲35.7⇒▲42.9⇒▲42.9⇒▲25.0⇒▲25.0⇒▲25.0、沿岸南部が▲25.0⇒▲45.0⇒▲28.6⇒▲26.7⇒▲16.7⇒▲28.6とマイナスが継続しており、住宅地と同様に復興関連事業が完了したことに伴う事業者の撤退などにより、商業地の需要の低迷が顕著となっている。

その他の地域は、県央部が▲3.9⇒▲2.7⇒▲7.5⇒▲1.6⇒5.1⇒9.8とプラス幅を拡大し、内陸北部が▲31.3⇒▲14.3⇒▲25.0⇒▲20.0⇒▲30.0⇒11.1とプラスに転じ、内陸南部が▲16.9⇒▲21.6⇒▲17.6⇒▲13.9⇒▲14.6⇒▲1.6とマイナス幅を縮小している。内陸部については、昨今のコロナ禍の影響がやや緩和した結果となっている。

##### ■ 中古住宅の価格

県央部がプラスを継続、内陸北部がマイナスからプラスに回復、内陸南部がマイナス幅を縮小し、半年後の予測でも、県央部、内陸北部及び内陸南部はプラス。一方で、沿岸北部及び沿岸南部は実感・予測ともにマイナス。

過去5回から今回調査に至る中古住宅価格DI（実感）の推移をみると、沿岸北部が▲35.7⇒▲25.0⇒▲58.3⇒▲25.0⇒▲26.7⇒▲15.0、沿岸南部が▲46.4⇒▲36.4⇒▲30.8⇒▲34.4⇒▲28.6⇒▲19.2と弱含みの状況が継続しているものの、マイナス幅が縮小している。

その他の地域は、県央部が▲6.3⇒2.5⇒3.8⇒11.5⇒21.9⇒25.0とプラスを継続し、内陸北部が▲20.0⇒▲12.5⇒▲21.4⇒▲14.3⇒▲25.0⇒10.0とプラスに転じ、内陸南部が▲17.5⇒▲16.9⇒▲11.3⇒▲4.1⇒▲3.4⇒▲1.5とマイナス幅を縮小している。

なお、中古住宅取引件数DIの予測では、内陸南部を除く全ての地域がプラスになっており、新築コストの上昇によって、中古住宅に需要が移転している傾向が見られる。

##### ■ 賃料

住居系不動産賃料は内陸南部が横ばいからプラスに転じ、内陸北部が横ばいを継続、他の地域はマイナスを継続。

## ■ 問9：営業地域における不動産取引で特徴的な事項

### ① 沿岸北部

- 三陸自動車道の完成による人口流出と、地域の人口減少により、不動産取引は休業状態である。（久慈市）
- 建築費が上昇しているため、土地代金を抑えようとする顧客が増えている。また、こうした傾向が土地取引の減少に繋がっている気がする。（宮古市）
- 取引は非常に少なく、最近では問い合わせすら減っている。（山田町）

### ② 沿岸南部

- 処分に困っている地主が多い。（釜石市）
- 住宅着工件数が少なく、今後も低水準が見込まれる。東日本大震災の復興事業が終了した後は住宅ニーズが少なくなった。（大船渡市）
- 農業振興地域の見直しが行われていない。30年前から耕作放棄されていても、農業振興地域であったりする。農地パトロールが有名無実化しているように感じる。（大船渡市）

### ③ 県中部

- 田舎の物件や農家住宅が売りづらい。今後さらに空家が増加する。（盛岡市）
- ハウスメーカー等の参入により、住宅用地が不足している。（盛岡市）
- 新築案件が減少している。（盛岡市）
- 産業用地及び建物は物件が不足気味で、需要は堅調である。（盛岡市）
- 盛南エリアの宅地価格の上昇が止まらない。（盛岡市）
- 土地の価格上昇や、建築費上昇により、新築の購入が難しくなった顧客が中古住宅を探している。（盛岡市）
- 今まで問い合わせの少なかった郊外の土地の売買が成立している。売買在庫が減ってきた。（盛岡市）
- 土地を購入して住宅を新築する方が増えた。（盛岡市）
- 販売地域によって、売却の期間にかなりの違いが出てきた。（盛岡市）
- 盛南地域においても、全国規模事業者が年度末までに退去予定となっている（賃貸）。今後、空きテナントが増加するのではないか。（盛岡市）
- 土地の価格が上がっており、新築を検討される方より中古住宅を検討される方が増えてきたという印象がある。（盛岡市）
- 土地の売り物件情報を公開すると、一般エンドユーザーよりもハウスメーカー等が購入・検討することが多い。（盛岡市）
- 地域による二極化が進んでいる。（盛岡市）
- 住宅地において、路線価や取引事例に比べて相当高額単価の取引事例が散見されている。（盛岡市）
- 相続による住居売却の相談が増えている。（盛岡市）
- 盛南エリアの人气が依然として高い。（盛岡市）
- 住宅メーカーの土地購入が目立つ。現在販売中の物件は建築条件付きが多い。（盛岡市）
- 分譲開発が増加している。（紫波町）
- 売地が少ないことから、やや高め金額で売買されるケースが多い。そのため取引価格が上昇傾向にあるものと感じる。（矢巾町）
- 来春より、不来方高前・短大前・東小の東・約500区画の造成及び販売が開始される。（矢巾町）

### ④ 内陸北部

- 県外・国外からの問い合わせが増加している。（八幡平市）

## ⑤ 内陸南部

- 北上市による需要増加の影響が波及している。(花巻市)
- 特定の場所に需要がかたよっているが、物件がない。(花巻市)
- 新規で分譲される宅地の価格が上昇を続けている。同時に、新規で分譲される宅地1区画の面積がどんどん小さくなっている。(花巻市)
- キオクシアの進出によって、賃貸住宅の需要が増加している。(北上市)
- キオクシアの2期工事が始まり、不動産需要も上向いてきている。(北上市)
- 賃貸物件の建築が増えた。(奥州市)
- 物流・倉庫業界における貸倉庫の需要が顕在化してきている。具体的には物件の検索依頼が発生している。(奥州市)
- 金ヶ崎町や江刺の土地・住宅の需要が増えている。(奥州市/金ヶ崎町)
- 過去の高い価格で売却を希望する土地所有者が多い。それにより長年売れない土地が散見される。(一関市)
- 空家の放置が散見される。(一関市)
- 相続登記がされず、草木が荒れ放題の土地が散見される。(一関市)
- 北上市にとっても勢いがあり、特に建設関連に動きがあると感じる。この影響で一関市内でもアパートの入居率が上がれば良いと考えている。(一関市)
- 融資を受けることができない方が増えている。(一関市)

## ■ 問10：自然災害による不動産取引等への影響

### ① 沿岸北部

- 特に水害に対する意識が高くなっている一方、インフラの整備が遅れている地域があり、消費者のニーズと合致しないケースがある。また、いままでの災害発生のメカニズムと違ってきているため、予想の出来ないパターンや増水が増えている気がする。(久慈市)
- 特に住宅地で注視されている。(宮古市)
- 水害等、罹災地は敬遠される傾向が未だ続いている。(宮古市)
- ハザードマップをあらかじめ閲覧している顧客が増えた。(宮古市)
- 取引がそもそもなく、災害に対する情報を気にしている話は噂程度に聞くことがある。(山田町)

### ② 沿岸南部

- 契約前に事前に水害ハザードマップを説明することで安心して契約をする顧客が増えていると感じる。(釜石市)
- 物件を選定する際は、必ず参考にされている。(釜石市)
- 当地域では台風の被害もなかったが、今後予測されることに留意し、リスクが考えられる不動産取引は行わないこととする。(大船渡市)
- 東日本大震災から11年が経過し、津波浸水地域(宅地)の売買も動き出す気配があったが、1月の津波警報発令ですべてキャンセルとなった。また10年経たないと回復しないと危惧する。(大船渡市)
- レッドゾーンやイエローゾーンの指定が追加されており、今後は自然災害を考慮していく。(大船渡市)
- 以前からであるが、津波による浸水エリアは敬遠されている。(陸前高田市)

### ③ 県中部

- 物件選定においてハザードマップを確認する顧客が増えた。(盛岡市)
- 事前にハザードマップを確認している顧客が増えた。(盛岡市)
- 物件選定においてハザードマップが影響している。(盛岡市)
- 自然災害のリスクは、物件の確認事項として定着しつつある。(盛岡市)
- 物件紹介において、ハザードマップを提示し、説明している。(盛岡市)
- 検討している不動産の自然災害によるリスクについての質問が増えた。(盛岡市)
- 過去の自然災害について質問される機会が増えた。(盛岡市)
- 水害地域を敬遠する方が増えている。(盛岡市)
- 川の近くや山のふもとの土地は売りづらい。(盛岡市)
- 川が近くにあることに不安を感じる方がいる。(盛岡市)
- 土砂災害警戒区域の物件は紹介しないようにしている。(盛岡市)
- ハザードマップを確認し、洪水・土砂災害警戒区域はさけて、建築したいという方が増えた。(盛岡市)
- 今後、自然災害のリスクがある土地については、価格を下げたいという要望が増える気がする。(盛岡市)
- 防災意識は高まっていると感じるが、物件の決定において、優先順位は未だ劣後している。(盛岡市)
- 影響は感じない。(盛岡市)
- 物件紹介時点でハザードマップを確認する顧客が増えた。(紫波町)
- 線状降水帯が頻発しており、雨水側溝や用水路等についても、確認と整備が必要と考える。(紫波町)
- 重要事項の説明時にハザードマップの内容を質問される。(矢巾町)
- ハザードマップに限らず、想定外の被害もあることを伝えるようにしている。(矢巾町)
- 物件をご紹介後に近隣の河川や水路を確認し、断念される方が多くなった。そのため、ハザードマップで危険エリアに該当する物件は、相場より価格が下がる傾向にある。(矢巾町)

#### ④ 内陸北部

- 契約する際、ハザードマップのコピーを添付するようにしている。(八幡平市)
- 過去の被害地の取引はやや減少している。(八幡平市)
- ハザードマップの確認は必ずしている。(二戸市)
- 雨水対策により、宅地開発に係る造成費用が多大に増加した。(岩手町)

#### ⑤ 内陸南部

- 浸水想定区域の取引が減少した。(花巻市)
- 水害ハザードマップ該当地域の今後の取引に懸念がある。(花巻市)
- 顧客も水害リスクについて関心を持って注視している。(花巻市)
- ハザードマップはアイオン台風を基にしているのも、現実的ではないところもある。(花巻市)
- 以前は詳しく説明をすることはなかったが、義務化以降は各市町村発行のハザードマップを用いて確認しながら説明するようにしている。(花巻市)
- 事前に確認している顧客が多く見られる。(遠野市)
- 水害リスク地域の土地売買はやや減少している。一方で、賃貸には影響がない。(北上市)
- 水害ハザードマップについて事前に確認している顧客が増えている。(北上市)
- 重要事項説明を機に、初めてハザードマップを知る方が多い。(北上市)
- ハザードマップを気にする方が多い。(北上市)
- 水害ハザードマップが購入希望条件に与える影響は大きいと思う。(奥州市)
- 以前から事前に確認する人はいたが、最近増えている印象は特にない。(奥州市)
- 浸水・がけ地等について説明し、保険などを提案している。(奥州市)
- 新築予定の方は気にしている印象があるが、一関市内の大きい川は限られるので、それほど影響はないように感じる。(一関市)
- 水害ハザードマップについて事前に確認する顧客が増えたが、今までの経緯や水害開発の強化を伝えると安心する顧客も多い。(一関市)
- ハザードマップの説明や顧客からの質問への回答等を丁寧にするようにしている。(一関市)
- 想定外の雨量により、側溝から水があふれて評判になることがある。地盤の嵩上げ等の工夫が必要であると感じる。(一関市)
- 水害リスク場所から離れていても、水害ハザードマップ等の説明をしている。(一関市)

## ■ その他（先行きの動向予測や、国、県、市町村、当調査等への意見・要望等）

### ① 沿岸北部

- 先行は暗闇そのもの。（久慈市）
- 沿岸部は景気が下降気味で、供給はあるが需要が少ない。（宮古市）

### ② 沿岸南部

- 行政は住民ではなく自分の仕事を優先している。何のために公務員になったのか初心に戻ってほしいが、これは無理であろう。（大船渡市）

### ③ 県央部

- 建築基準法等の制限について、まとめたものをHP等へ掲載してほしい。（盛岡市）
- 地価は必ず下落すると思う。（盛岡市）
- 金利の上昇がどの程度の影響を及ぼすのか注視していきたい。（盛岡市）
- 過去の動向予測との比較・グラフなどがあるとありがたい。（盛岡市）
- 盛岡市内でのまとまった規模の土地の供給は減少すると思う。（盛岡市）
- 単身高齢者の方の売却相談が増加しているが、市街化調整区域内の物件の売却が困難である。要件の緩和が必要である。（矢巾町）
- 土地を探している方は継続的にいるが、新規分譲が控えているためか、近頃は来店する方が減っている。（矢巾町）

### ④ 内陸北部

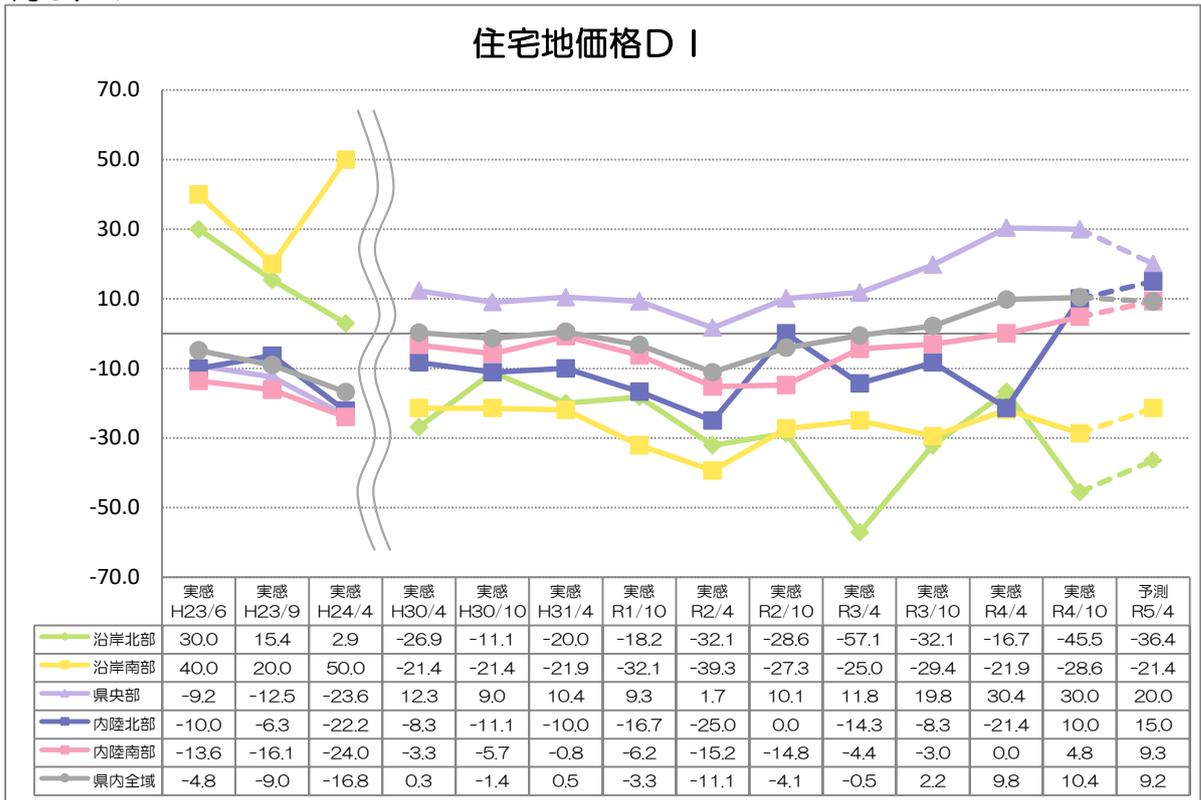
- 外国人への土地・建物の売却の基準規程などを作ってほしい。（八幡平市）

### ⑤ 内陸南部

- 物価上昇により建築資材の高騰などの影響がでている。（花巻市）
- 花巻市は水害ハザードマップに内水の記載があるが、北上市にはないため、今後追加される可能性があるのかどうか気がりである。（北上市）
- 少子化対策、人口減少対策が必要である。（北上市）
- 相続登記が義務化される一方、所有者の住所変更登記は義務化されておらず、放置されている空き家の所有者の所在が不明な場合がある。こちらも義務化すべきである。（一関市）

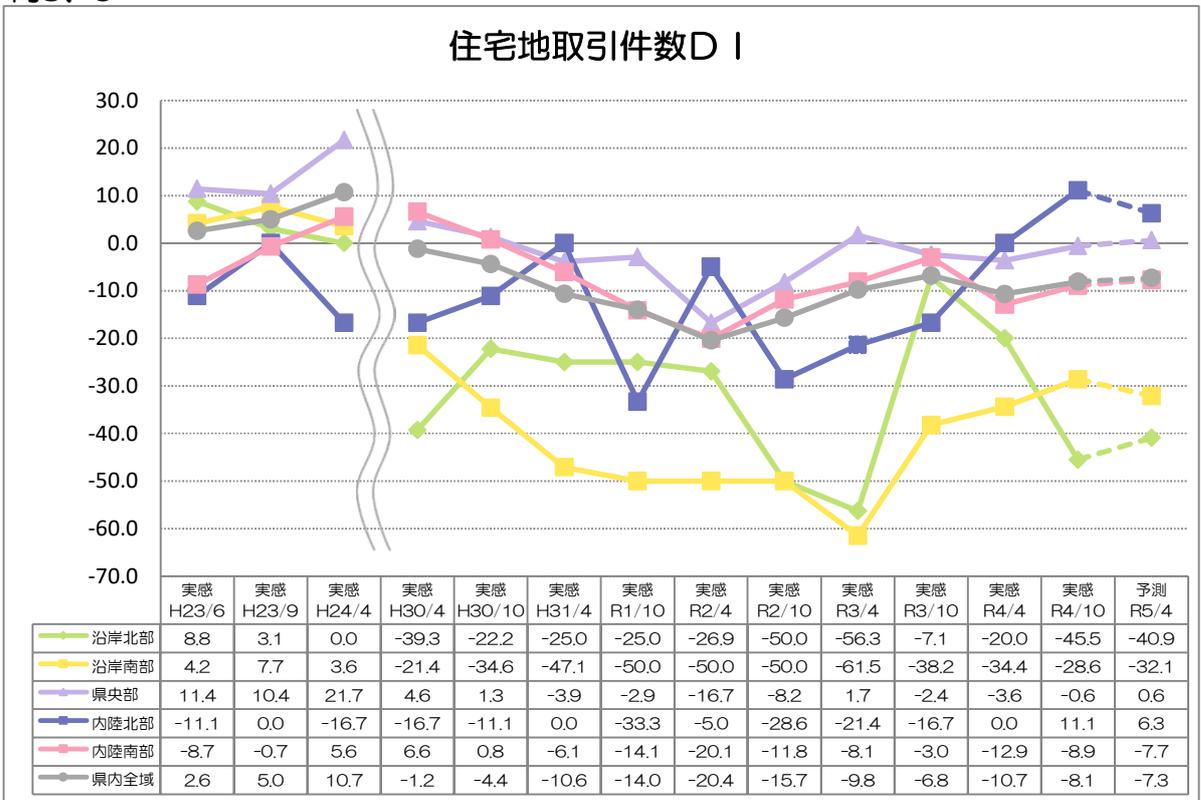
(2) 動向判断指数 (DI) による分析

問3、4



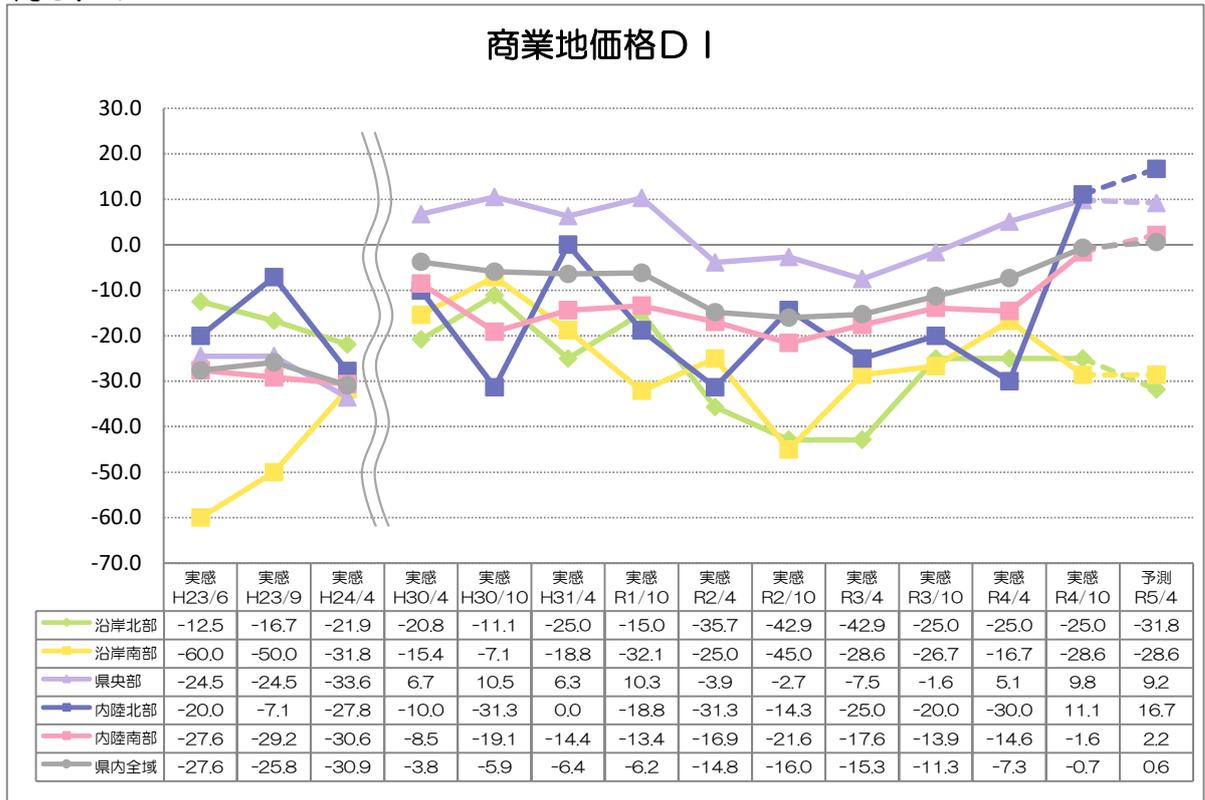
※実感H23/6は第1回調査（H23.6.1時点）の調査結果、実感H23/9は第2回調査（H23.9.1時点）の調査結果、実感H24/4は第3回調査（H24.4.1時点）の調査結果で、以後半年ごとの調査。（以下同様）

問5、6

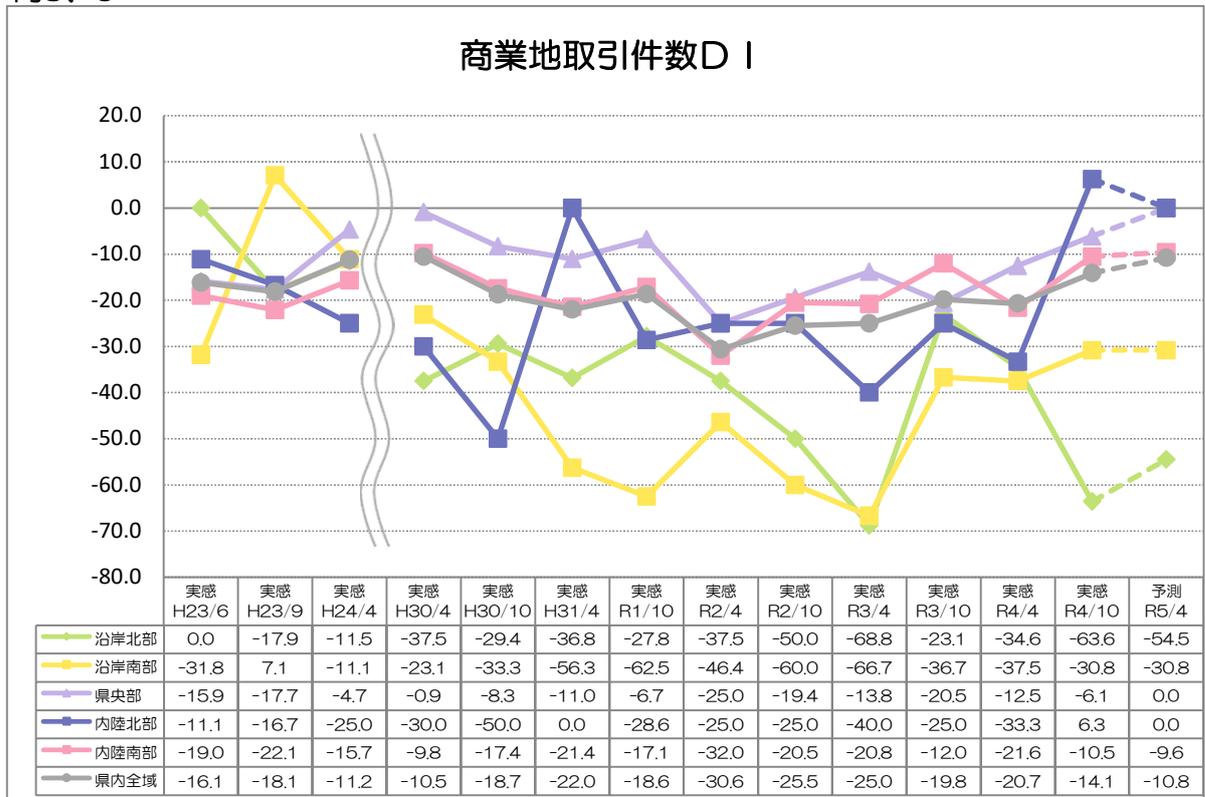


- 住宅地価格DIは、実感・予測ともに県央部、内陸北部及び内陸南部がプラス、沿岸北部及び沿岸南部はマイナス。
- 住宅地取引件数DIの実感は、内陸北部がプラス、他の地域はマイナス。予測では、県央部及び内陸北部がプラス、他の地域はマイナス。

問3、4

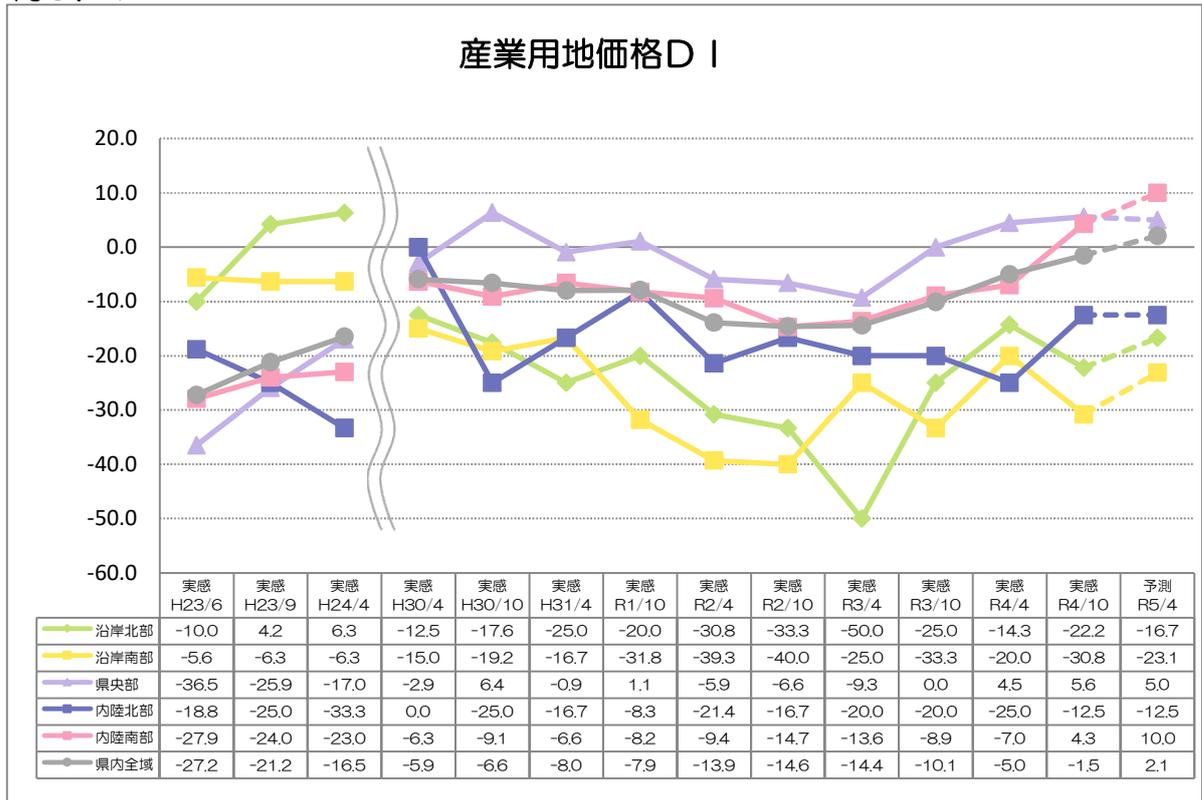


問5、6

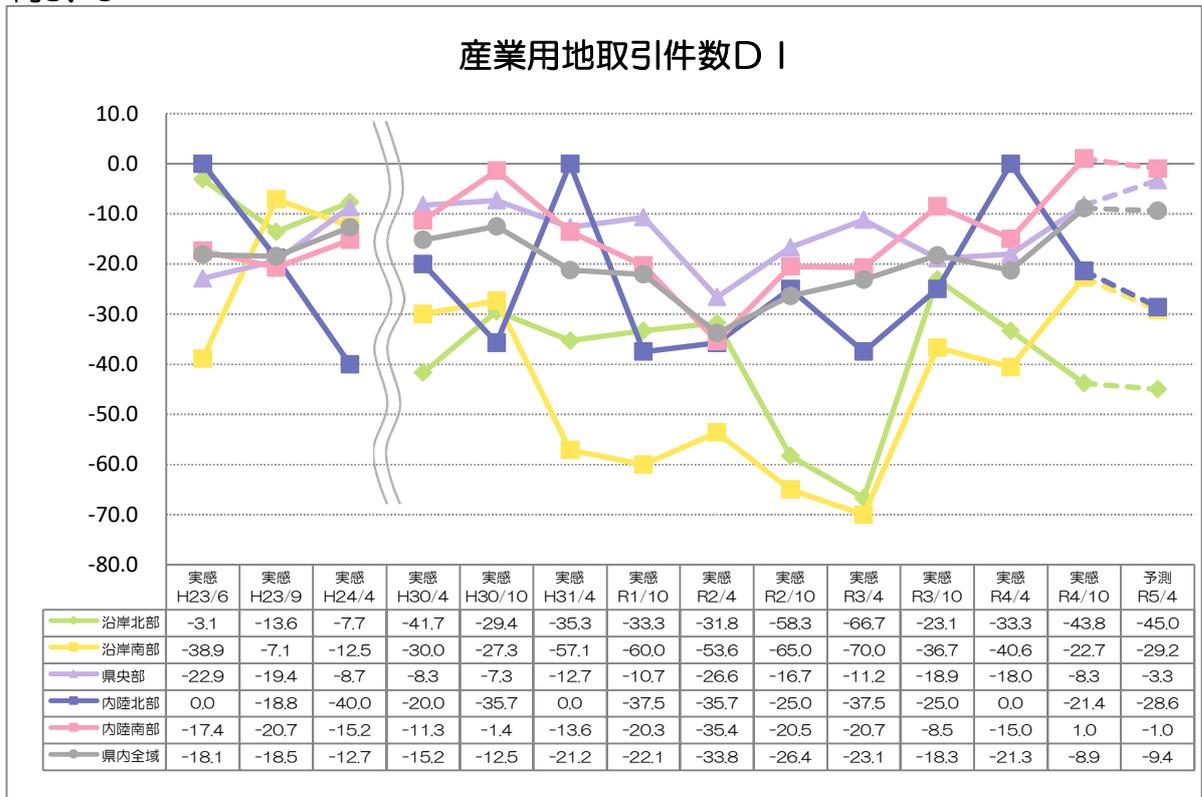


- 商業地価格DIの実感は、県中部及び内陸北部がプラス、他の地域はマイナス。予測では、県中部、内陸北部及び内陸南部がプラス、沿岸北部及び沿岸南部はマイナス。
- 商業地取引件数DIの実感は、内陸北部がプラス、他の地域はマイナス。予測では、県中部及び内陸北部が横ばい、他の地域はマイナス。

問3、4

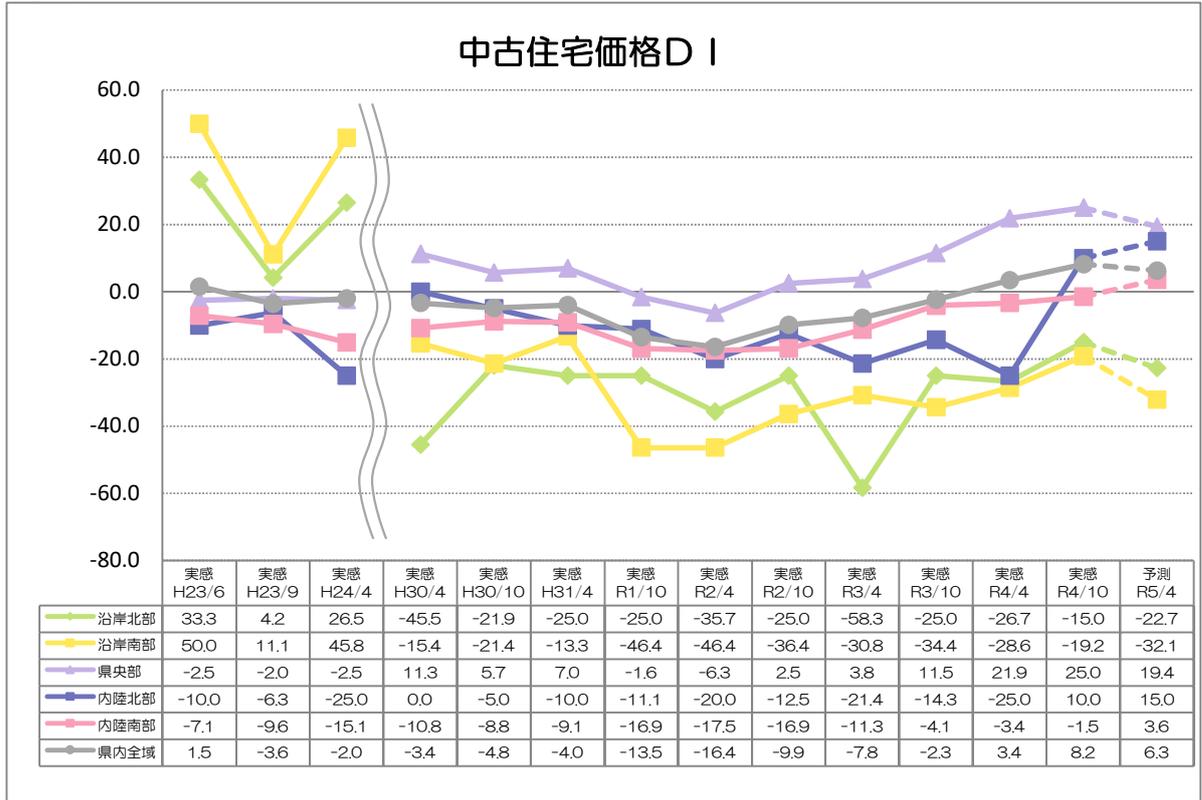


問5、6

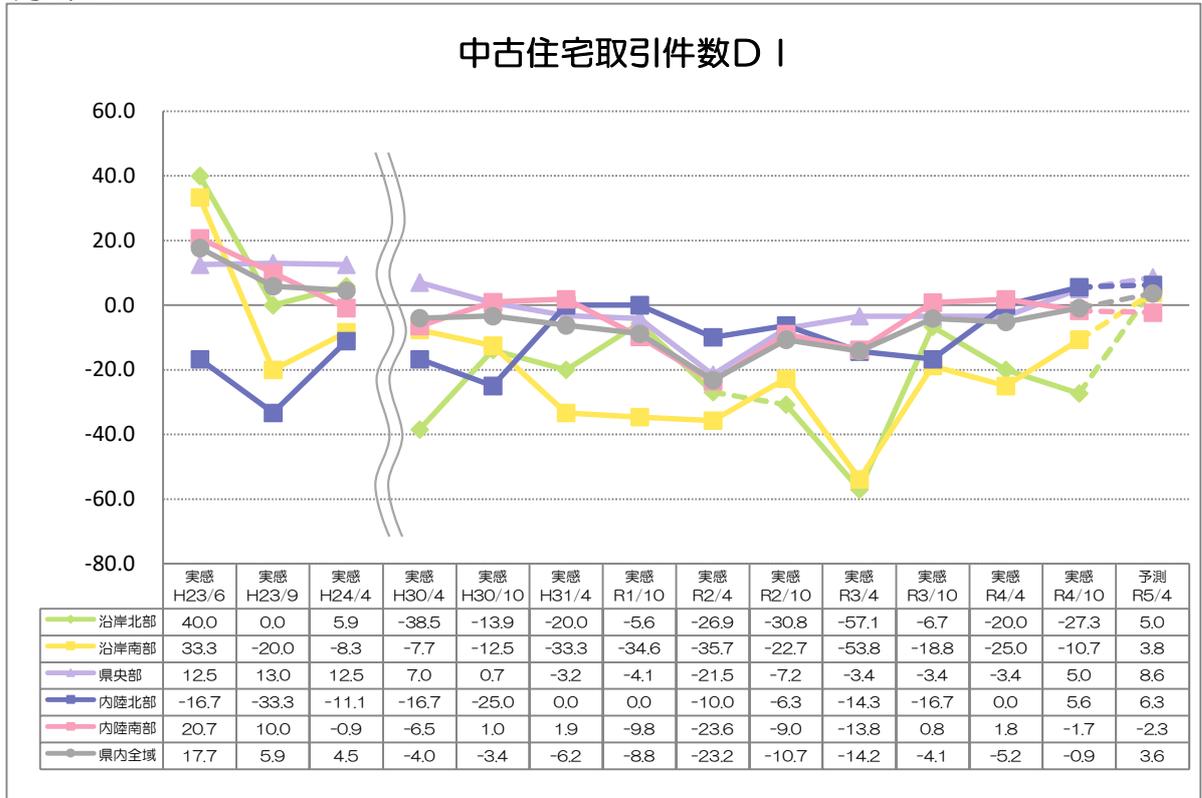


- 産業用地価格DIは、実感・予測ともに県中部及び内陸南部がプラス、他の地域はマイナス。
- 産業用地取引件数DIの実感は、内陸南部がプラス、他の地域はマイナス。予測では、全地域がマイナス。

問3、4

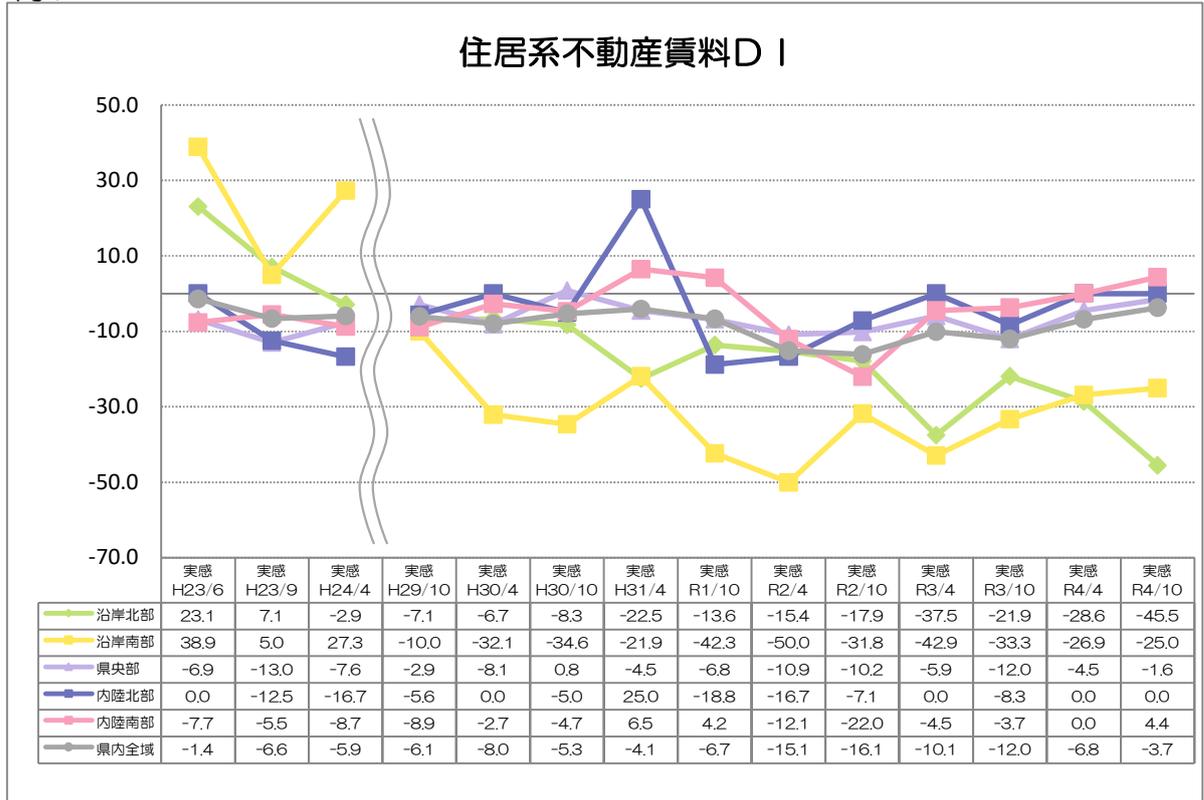


問5、6

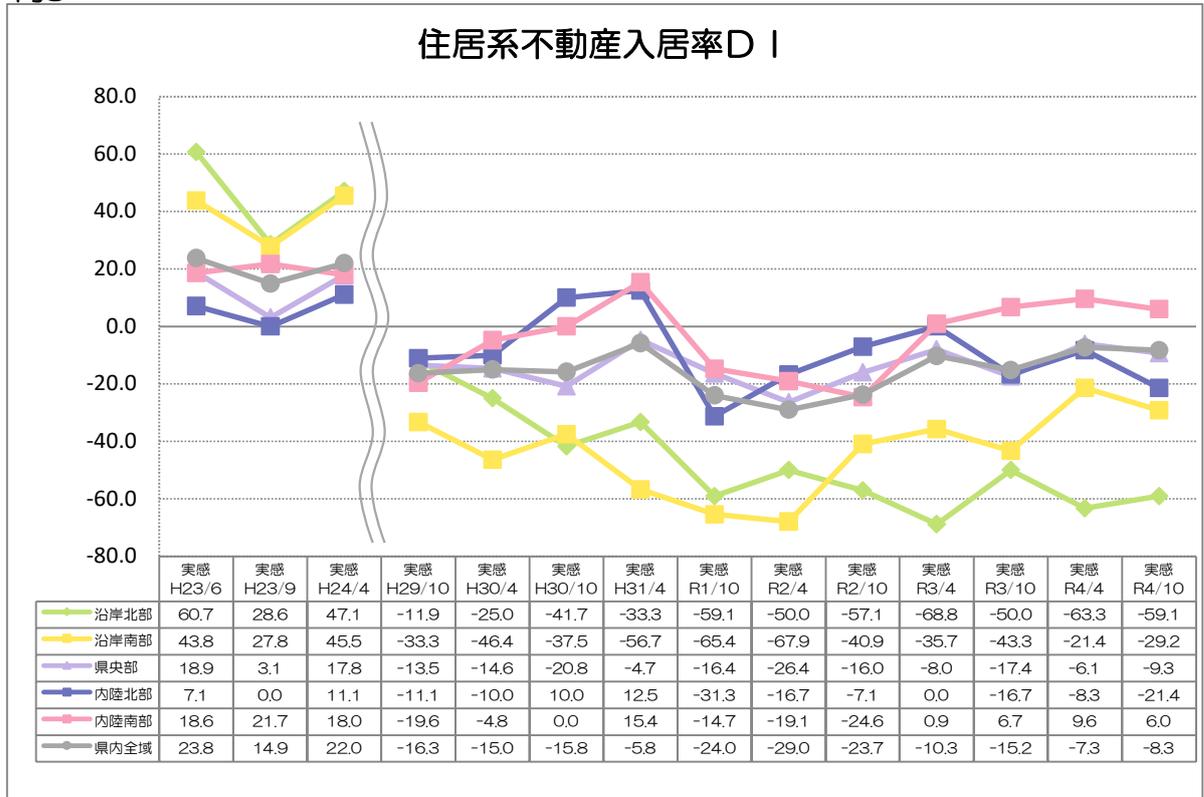


- 中古住宅価格DIの実感は、県央部及び内陸北部がプラス、他の地域はマイナス。予測では、県央部、内陸北部及び内陸南部がプラス、沿岸北部及び沿岸南部はマイナス。
- 中古住宅取引件数DIの実感は、県央部及び内陸北部がプラス、他の地域はマイナス。予測では、内陸南部以外がプラス、内陸南部がマイナス。

問7

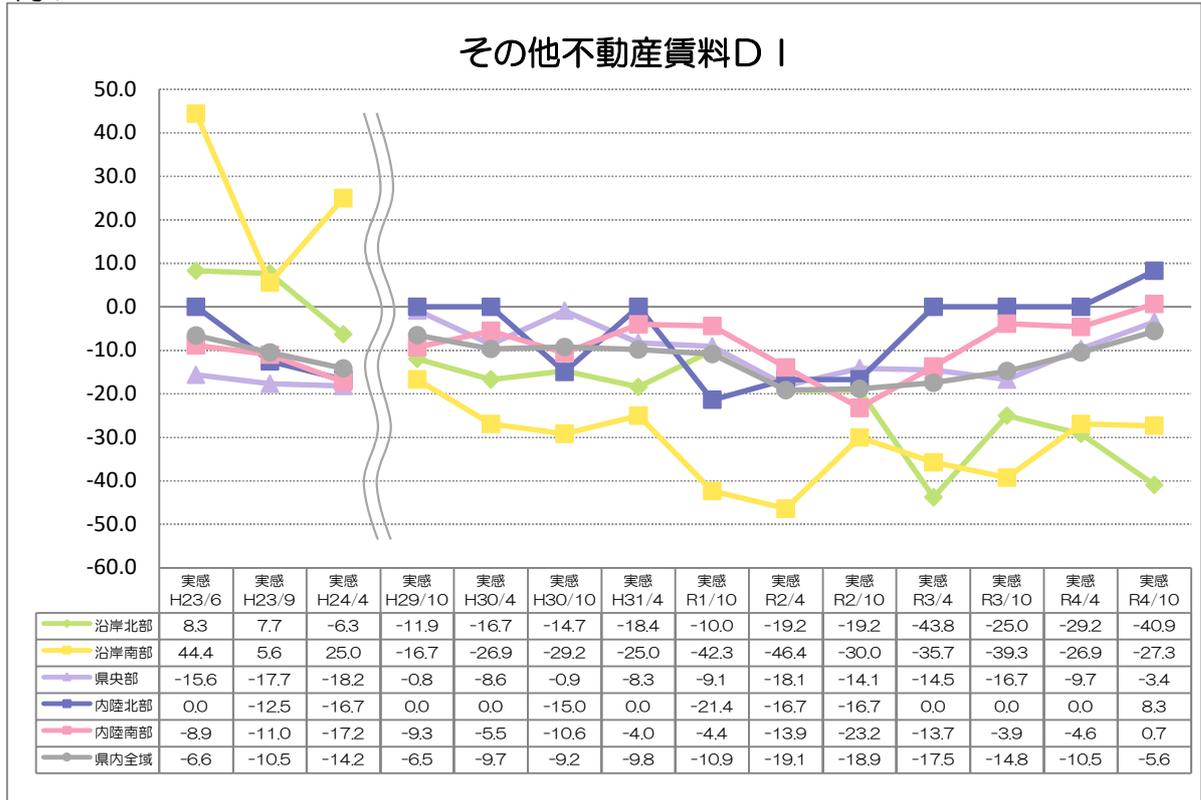


問8

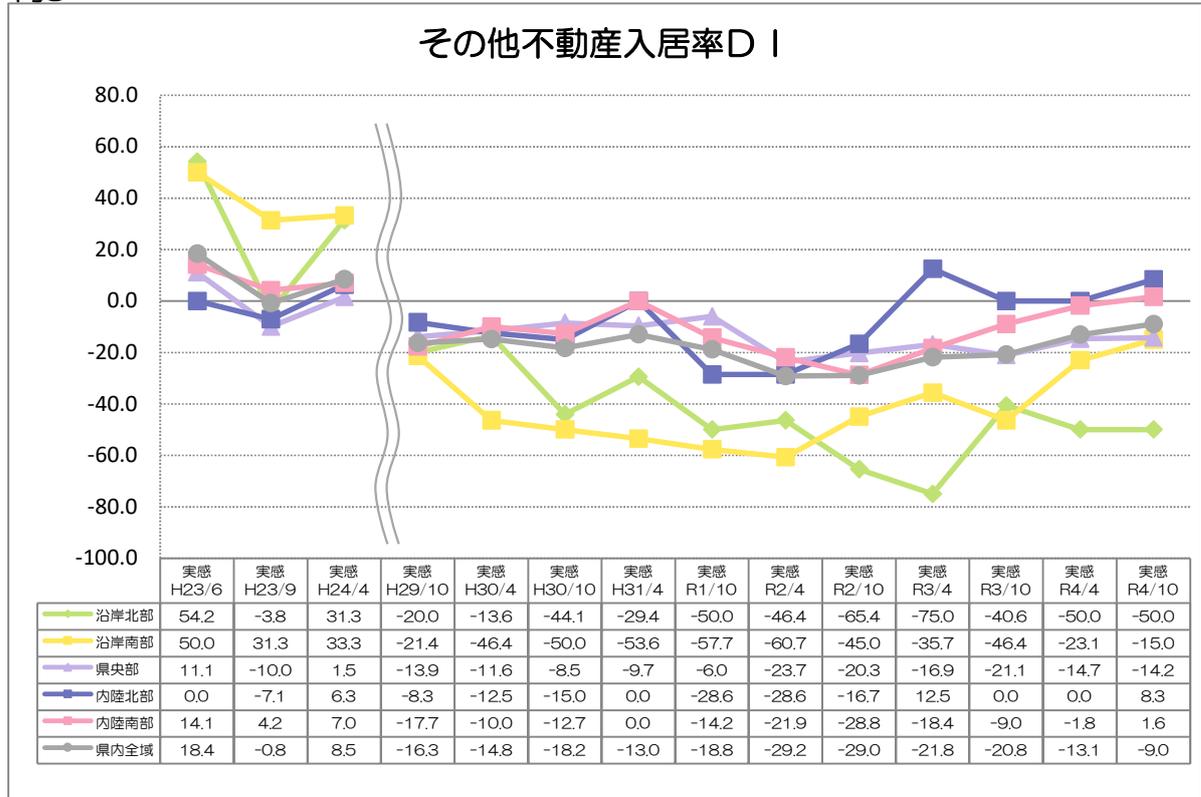


- 住居系不動産賃料DIは、内陸南部がプラス、内陸北部が横ばい、他の地域はマイナス。
- 住居系不動産入居率DIは、内陸南部がプラス、他の地域はマイナス。

問7



問8



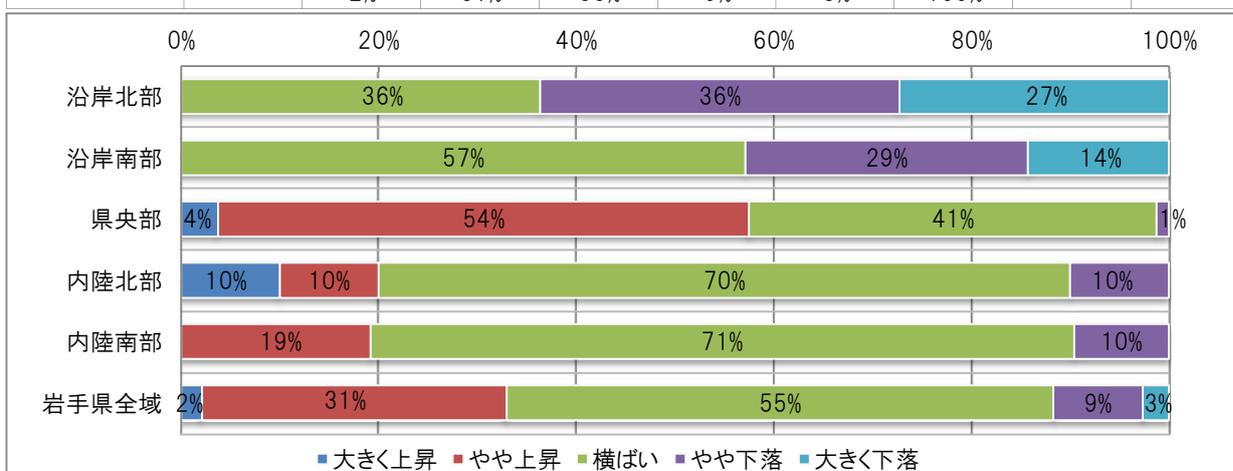
- その他不動産賃料DIは、内陸北部及び内陸南部がプラス、他の地域はマイナス。
- その他不動産入居率DIは、内陸北部及び内陸南部がプラス、他の地域はマイナス。

## 2. 設問ごとの回答内訳

問3:取引価格の6ヶ月前(R4.4.1時点)との比較 ①

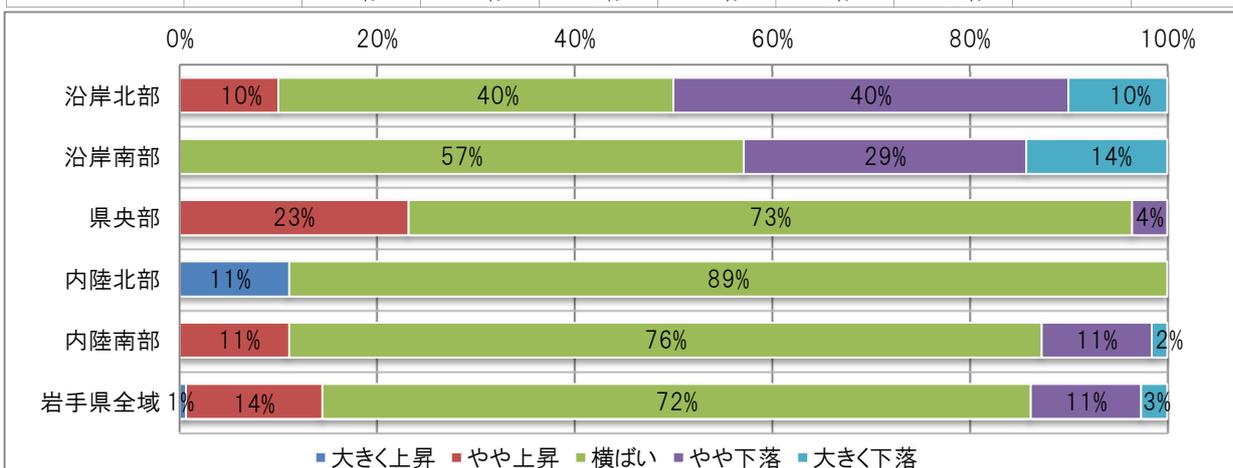
### 【住宅地】

エリア	動向指数	大きく上昇	やや上昇	横ばい	やや下落	大きく下落	小計	不明 無回答	合計
沿岸北部	-45.5	0	0	4	4	3	11	0	11
		0%	0%	36%	36%	27%	100%		
沿岸南部	-28.6	0	0	8	4	2	14	0	14
		0%	0%	57%	29%	14%	100%		
県央部	30.0	3	43	33	1	0	80	4	84
		4%	54%	41%	1%	0%	100%		
内陸北部	10.0	1	1	7	1	0	10	0	10
		10%	10%	70%	10%	0%	100%		
内陸南部	4.8	0	14	52	7	0	73	5	78
		0%	19%	71%	10%	0%	100%		
岩手県全域	10.4	4	58	104	17	5	188	9	197
		2%	31%	55%	9%	3%	100%		



### 【商業地】

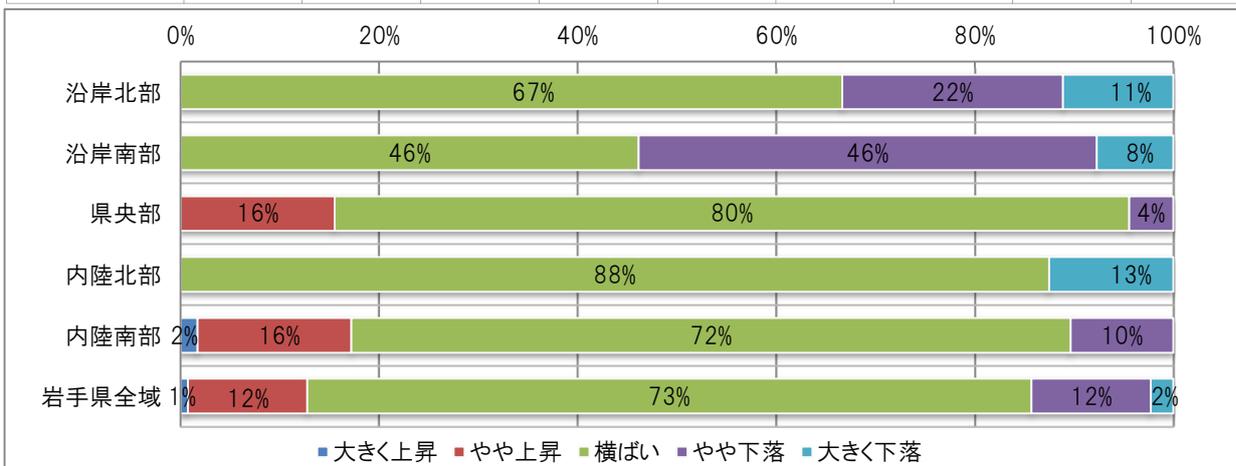
エリア	動向指数	大きく上昇	やや上昇	横ばい	やや下落	大きく下落	小計	不明 無回答	合計
沿岸北部	-25.0	0	1	4	4	1	10	1	11
		0%	10%	40%	40%	10%	100%		
沿岸南部	-28.6	0	0	8	4	2	14	0	14
		0%	0%	57%	29%	14%	100%		
県央部	9.8	0	13	41	2	0	56	28	84
		0%	23%	73%	4%	0%	100%		
内陸北部	11.1	1	0	8	0	0	9	1	10
		11%	0%	89%	0%	0%	100%		
内陸南部	-1.6	0	7	48	7	1	63	15	78
		0%	11%	76%	11%	2%	100%		
岩手県全域	-0.7	1	21	109	17	4	152	45	197
		1%	14%	72%	11%	3%	100%		



問3: 取引価格の6ヶ月前(R4.4.1時点)との比較 ②

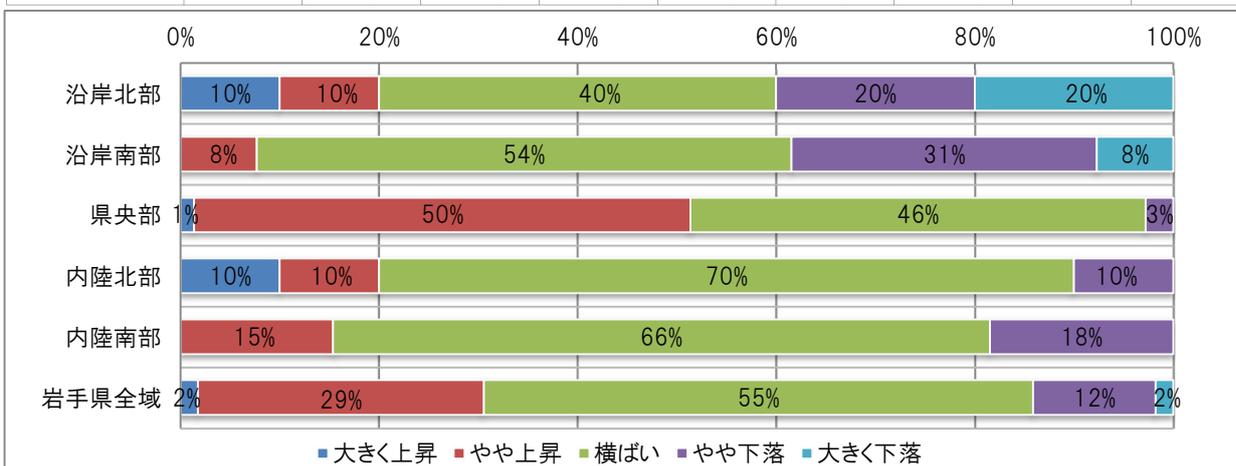
【産業用地】

エリア	動向指数	大きく上昇	やや上昇	横ばい	やや下落	大きく下落	小計	不明 無回答	合計
沿岸北部	-22.2	0	0	6	2	1	9	2	11
		0%	0%	67%	22%	11%	100%		
沿岸南部	-30.8	0	0	6	6	1	13	1	14
		0%	0%	46%	46%	8%	100%		
県央部	5.6	0	7	36	2	0	45	39	84
		0%	16%	80%	4%	0%	100%		
内陸北部	-12.5	0	0	7	0	1	8	2	10
		0%	0%	88%	0%	13%	100%		
内陸南部	4.3	1	9	42	6	0	58	20	78
		2%	16%	72%	10%	0%	100%		
岩手県全域	-1.5	1	16	97	16	3	133	64	197
		1%	12%	73%	12%	2%	100%		



【中古住宅】

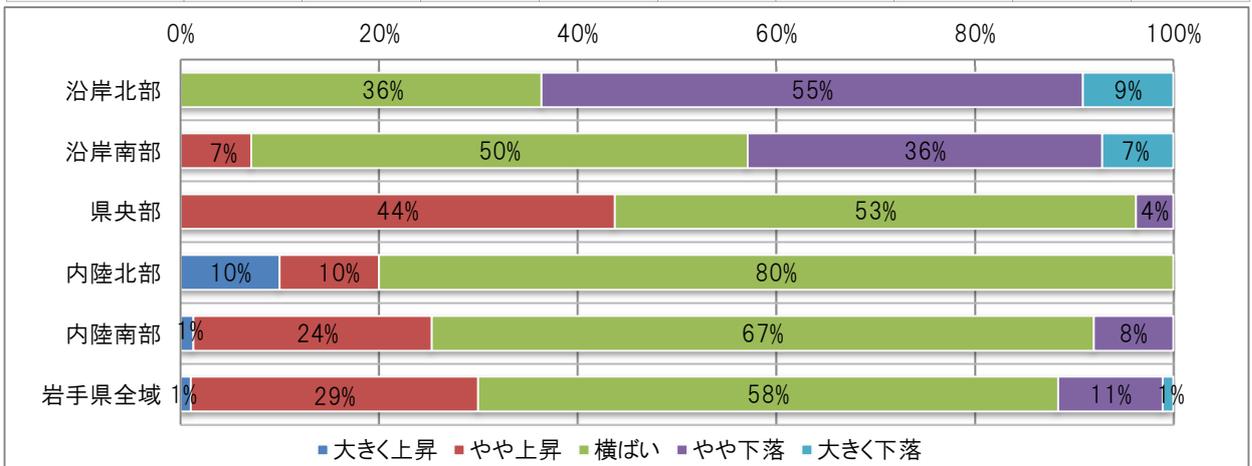
エリア	動向指数	大きく上昇	やや上昇	横ばい	やや下落	大きく下落	小計	不明 無回答	合計
沿岸北部	-15.0	1	1	4	2	2	10	1	11
		10%	10%	40%	20%	20%	100%		
沿岸南部	-19.2	0	1	7	4	1	13	1	14
		0%	8%	54%	31%	8%	100%		
県央部	25.0	1	36	33	2	0	72	12	84
		1%	50%	46%	3%	0%	100%		
内陸北部	10.0	1	1	7	1	0	10	0	10
		10%	10%	70%	10%	0%	100%		
内陸南部	-1.5	0	10	43	12	0	65	13	78
		0%	15%	66%	18%	0%	100%		
岩手県全域	8.2	3	49	94	21	3	170	27	197
		2%	29%	55%	12%	2%	100%		



問4:6ヶ月後の取引価格の予測 ①

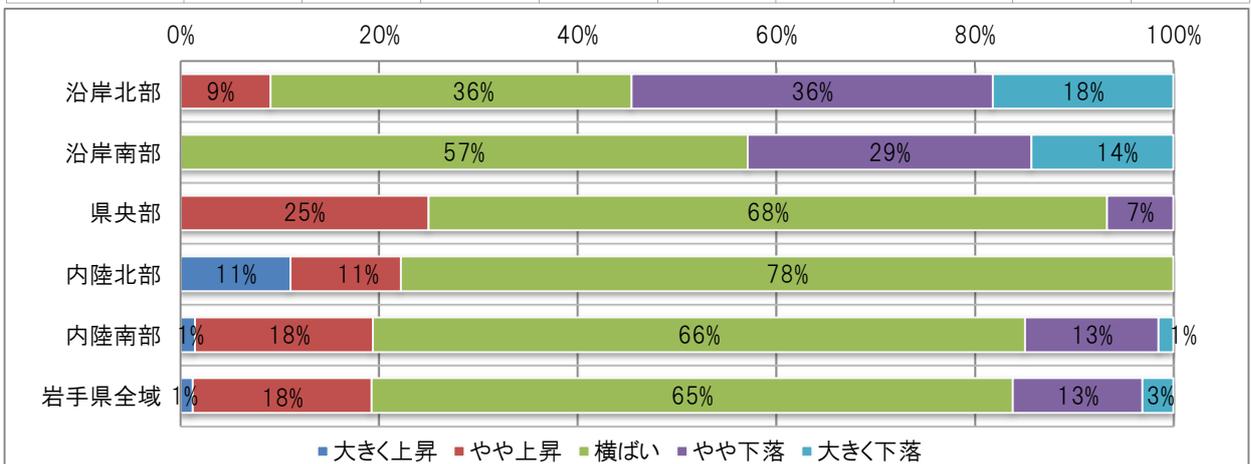
【住宅地】

エリア	動向指数	大きく上昇	やや上昇	横ばい	やや下落	大きく下落	小計	不明 無回答	合計
沿岸北部	-36.4	0	0	4	6	1	11	0	11
		0%	0%	36%	55%	9%	100%		
沿岸南部	-21.4	0	1	7	5	1	14	0	14
		0%	7%	50%	36%	7%	100%		
県央部	20.0	0	35	42	3	0	80	4	84
		0%	44%	53%	4%	0%	100%		
内陸北部	15.0	1	1	8	0	0	10	0	10
		10%	10%	80%	0%	0%	100%		
内陸南部	9.3	1	18	50	6	0	75	3	78
		1%	24%	67%	8%	0%	100%		
岩手県全域	9.2	2	55	111	20	2	190	7	197
		1%	29%	58%	11%	1%	100%		



【商業地】

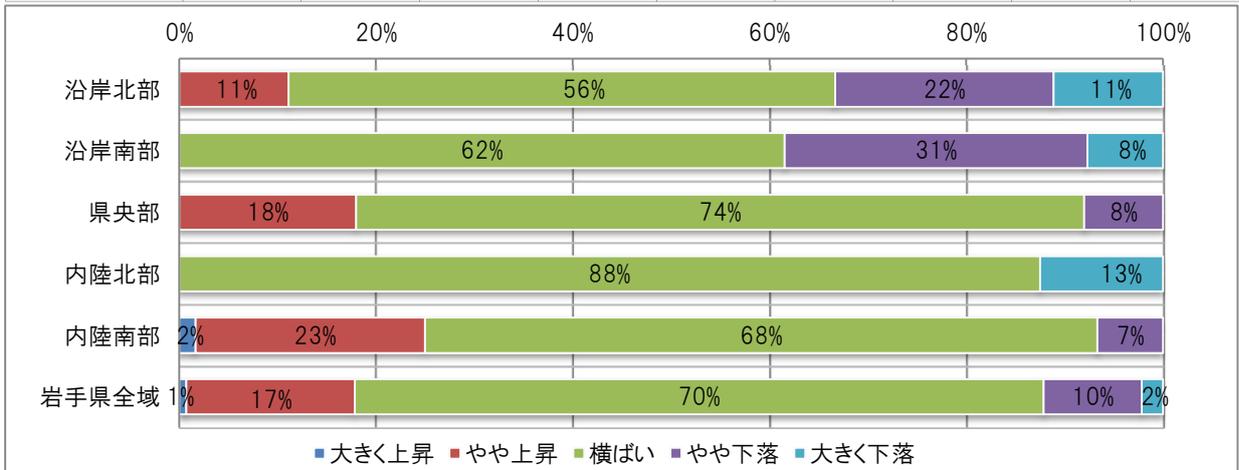
エリア	動向指数	大きく上昇	やや上昇	横ばい	やや下落	大きく下落	小計	不明 無回答	合計
沿岸北部	-31.8	0	1	4	4	2	11	0	11
		0%	9%	36%	36%	18%	100%		
沿岸南部	-28.6	0	0	8	4	2	14	0	14
		0%	0%	57%	29%	14%	100%		
県央部	9.2	0	15	41	4	0	60	24	84
		0%	25%	68%	7%	0%	100%		
内陸北部	16.7	1	1	7	0	0	9	1	10
		11%	11%	78%	0%	0%	100%		
内陸南部	2.2	1	12	44	9	1	67	11	78
		1%	18%	66%	13%	1%	100%		
岩手県全域	0.6	2	29	104	21	5	161	36	197
		1%	18%	65%	13%	3%	100%		



問4:6ヶ月後の取引価格の予測 ②

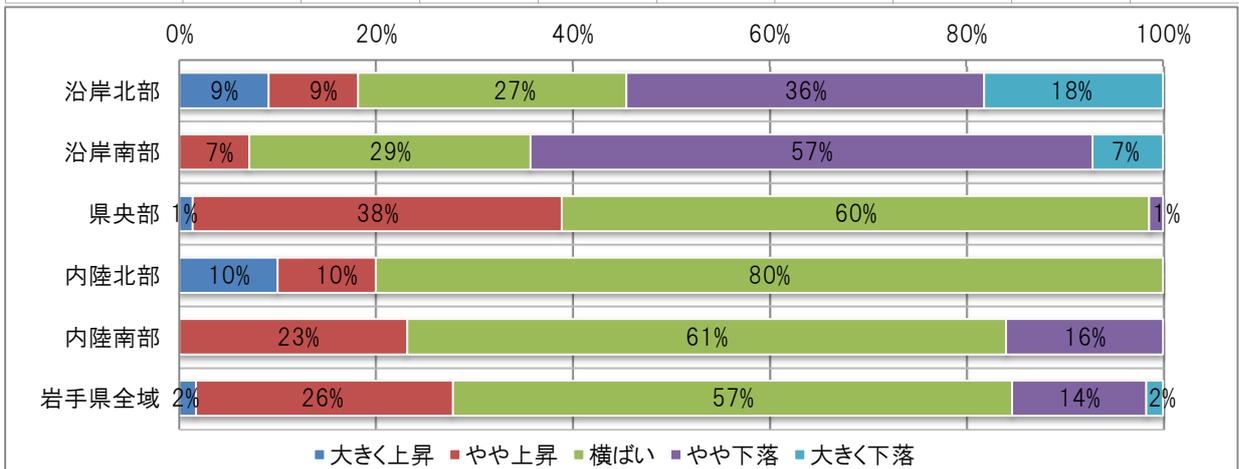
【産業用地】

エリア	動向指数	大きく上昇	やや上昇	横ばい	やや下落	大きく下落	小計	不明 無回答	合計
沿岸北部	-16.7	0	1	5	2	1	9	2	11
		0%	11%	56%	22%	11%	100%		
沿岸南部	-23.1	0	0	8	4	1	13	1	14
		0%	0%	62%	31%	8%	100%		
県央部	5.0	0	9	37	4	0	50	34	84
		0%	18%	74%	8%	0%	100%		
内陸北部	-12.5	0	0	7	0	1	8	2	10
		0%	0%	88%	0%	13%	100%		
内陸南部	10.0	1	14	41	4	0	60	18	78
		2%	23%	68%	7%	0%	100%		
岩手県全域	2.1	1	24	98	14	3	140	57	197
		1%	17%	70%	10%	2%	100%		



【中古住宅】

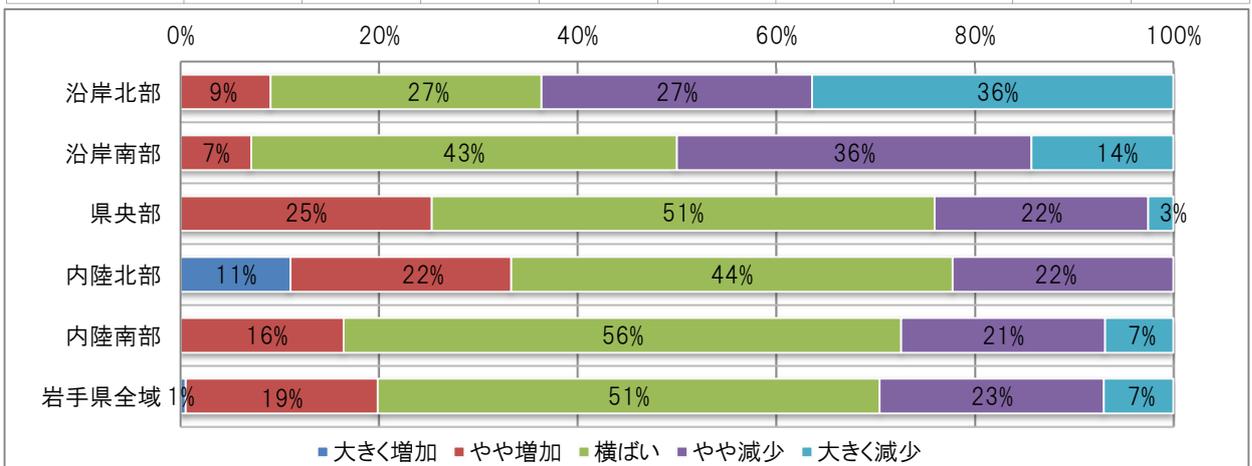
エリア	動向指数	大きく上昇	やや上昇	横ばい	やや下落	大きく下落	小計	不明 無回答	合計
沿岸北部	-22.7	1	1	3	4	2	11	0	11
		9%	9%	27%	36%	18%	100%		
沿岸南部	-32.1	0	1	4	8	1	14	0	14
		0%	7%	29%	57%	7%	100%		
県央部	19.4	1	27	43	1	0	72	12	84
		1%	38%	60%	1%	0%	100%		
内陸北部	15.0	1	1	8	0	0	10	0	10
		10%	10%	80%	0%	0%	100%		
内陸南部	3.6	0	16	42	11	0	69	9	78
		0%	23%	61%	16%	0%	100%		
岩手県全域	6.3	3	46	100	24	3	176	21	197
		2%	26%	57%	14%	2%	100%		



問5: 取引件数の6ヶ月前(R4.4.1時点)との比較 ①

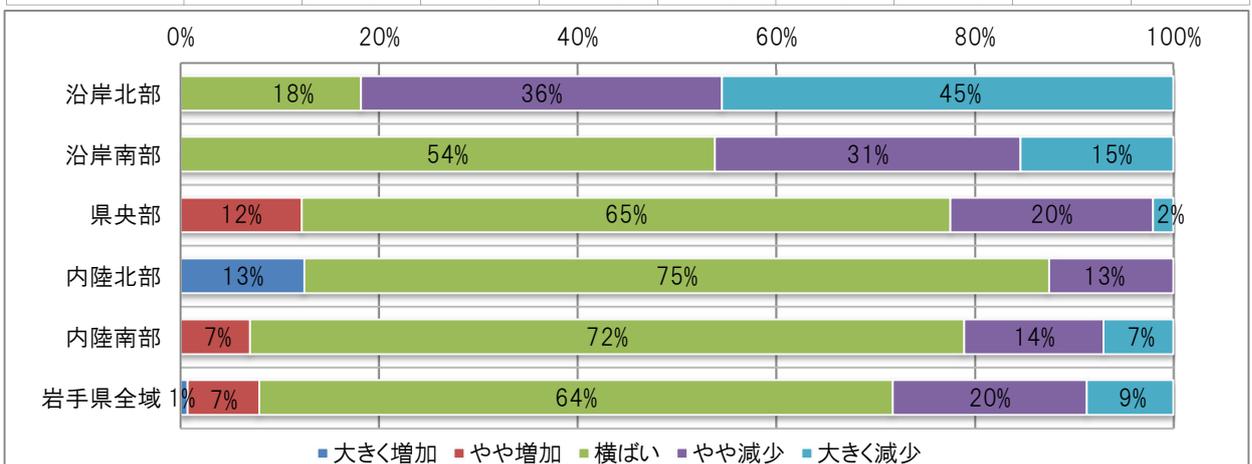
【住宅地】

エリア	動向指数	大きく増加	やや増加	横ばい	やや減少	大きく減少	小計	不明 無回答	合計
沿岸北部	-45.5	0	1	3	3	4	11	0	11
		0%	9%	27%	27%	36%	100%		
沿岸南部	-28.6	0	1	6	5	2	14	0	14
		0%	7%	43%	36%	14%	100%		
県央部	-0.6	0	20	40	17	2	79	5	84
		0%	25%	51%	22%	3%	100%		
内陸北部	11.1	1	2	4	2	0	9	1	10
		11%	22%	44%	22%	0%	100%		
内陸南部	-8.9	0	12	41	15	5	73	5	78
		0%	16%	56%	21%	7%	100%		
岩手県全域	-8.1	1	36	94	42	13	186	11	197
		1%	19%	51%	23%	7%	100%		



【商業地】

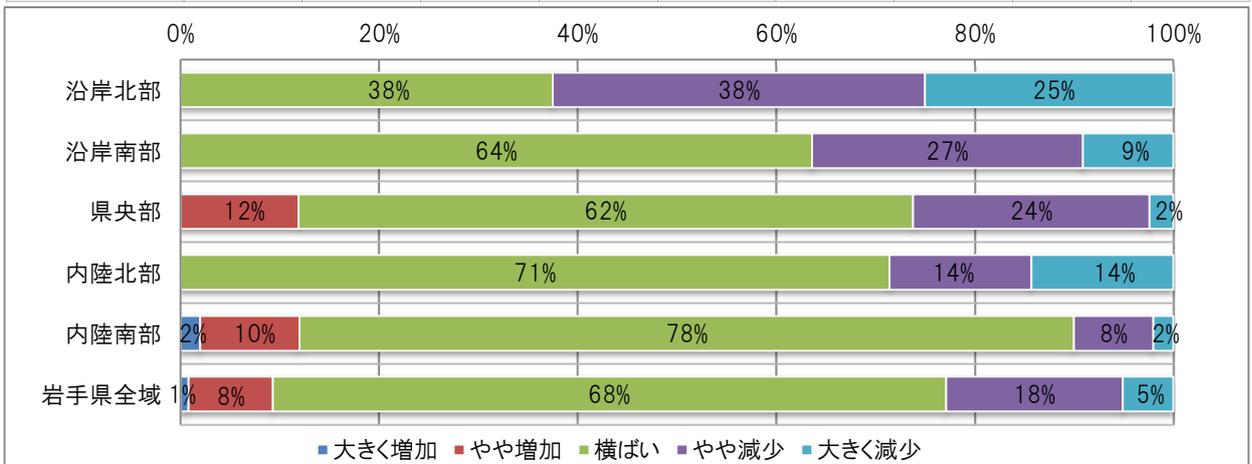
エリア	動向指数	大きく増加	やや増加	横ばい	やや減少	大きく減少	小計	不明 無回答	合計
沿岸北部	-63.6	0	0	2	4	5	11	0	11
		0%	0%	18%	36%	45%	100%		
沿岸南部	-30.8	0	0	7	4	2	13	1	14
		0%	0%	54%	31%	15%	100%		
県央部	-6.1	0	6	32	10	1	49	35	84
		0%	12%	65%	20%	2%	100%		
内陸北部	6.3	1	0	6	1	0	8	2	10
		13%	0%	75%	13%	0%	100%		
内陸南部	-10.5	0	4	41	8	4	57	21	78
		0%	7%	72%	14%	7%	100%		
岩手県全域	-14.1	1	10	88	27	12	138	59	197
		1%	7%	64%	20%	9%	100%		



問5: 取引件数の6ヶ月前(R4.4.1時点)との比較 ②

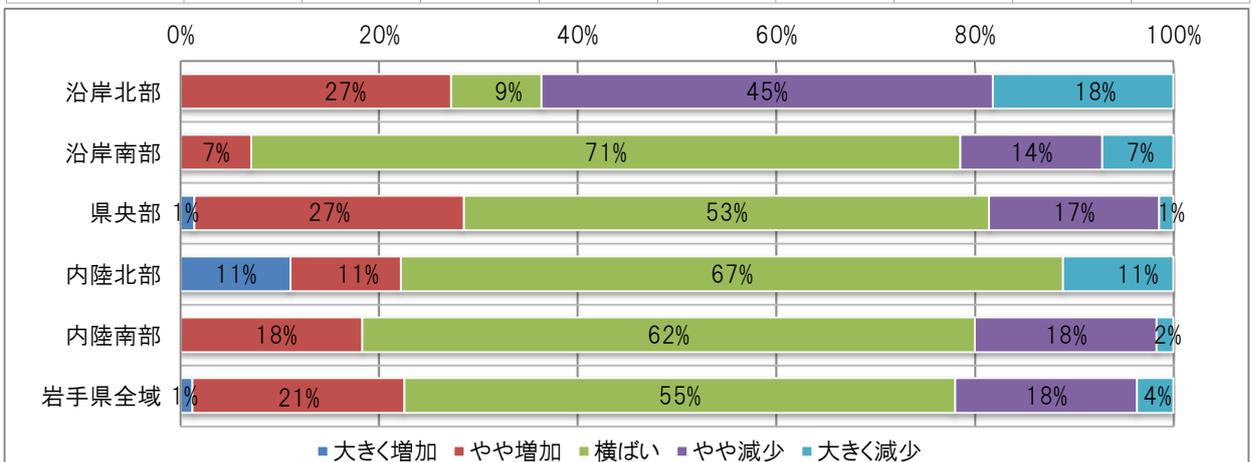
【産業用地】

エリア	動向指数	大きく増加	やや増加	横ばい	やや減少	大きく減少	小計	不明 無回答	合計
沿岸北部	-43.8	0	0	3	3	2	8	3	11
		0%	0%	38%	38%	25%	100%		
沿岸南部	-22.7	0	0	7	3	1	11	3	14
		0%	0%	64%	27%	9%	100%		
県央部	-8.3	0	5	26	10	1	42	42	84
		0%	12%	62%	24%	2%	100%		
内陸北部	-21.4	0	0	5	1	1	7	3	10
		0%	0%	71%	14%	14%	100%		
内陸南部	1.0	1	5	39	4	1	50	28	78
		2%	10%	78%	8%	2%	100%		
岩手県全域	-8.9	1	10	80	21	6	118	79	197
		1%	8%	68%	18%	5%	100%		



【中古住宅】

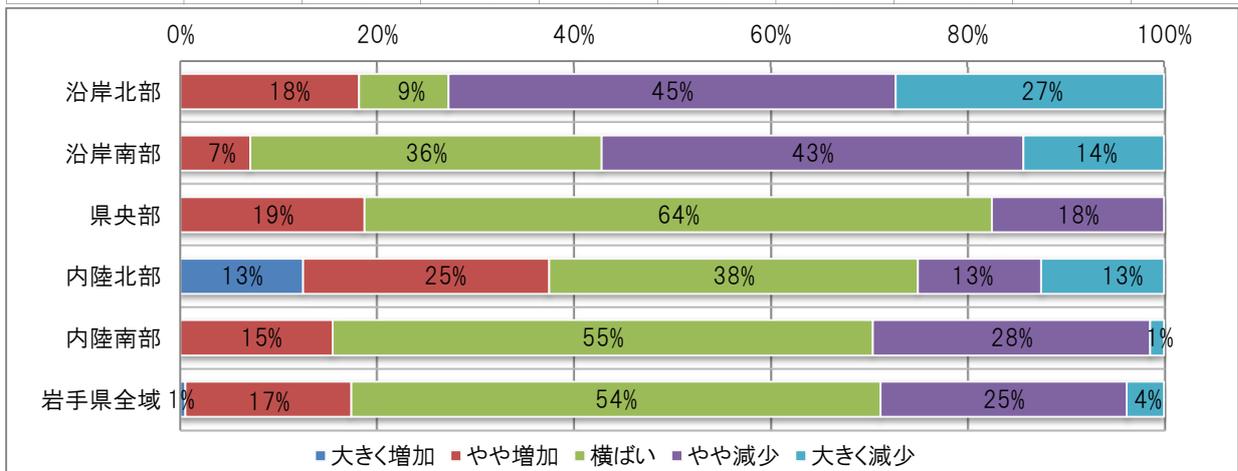
エリア	動向指数	大きく増加	やや増加	横ばい	やや減少	大きく減少	小計	不明 無回答	合計
沿岸北部	-27.3	0	3	1	5	2	11	0	11
		0%	27%	9%	45%	18%	100%		
沿岸南部	-10.7	0	1	10	2	1	14	0	14
		0%	7%	71%	14%	7%	100%		
県央部	5.0	1	19	37	12	1	70	14	84
		1%	27%	53%	17%	1%	100%		
内陸北部	5.6	1	1	6	0	1	9	1	10
		11%	11%	67%	0%	11%	100%		
内陸南部	-1.7	0	11	37	11	1	60	18	78
		0%	18%	62%	18%	2%	100%		
岩手県全域	-0.9	2	35	91	30	6	164	33	197
		1%	21%	55%	18%	4%	100%		



問6:6ヶ月後の取引件数の予測 ①

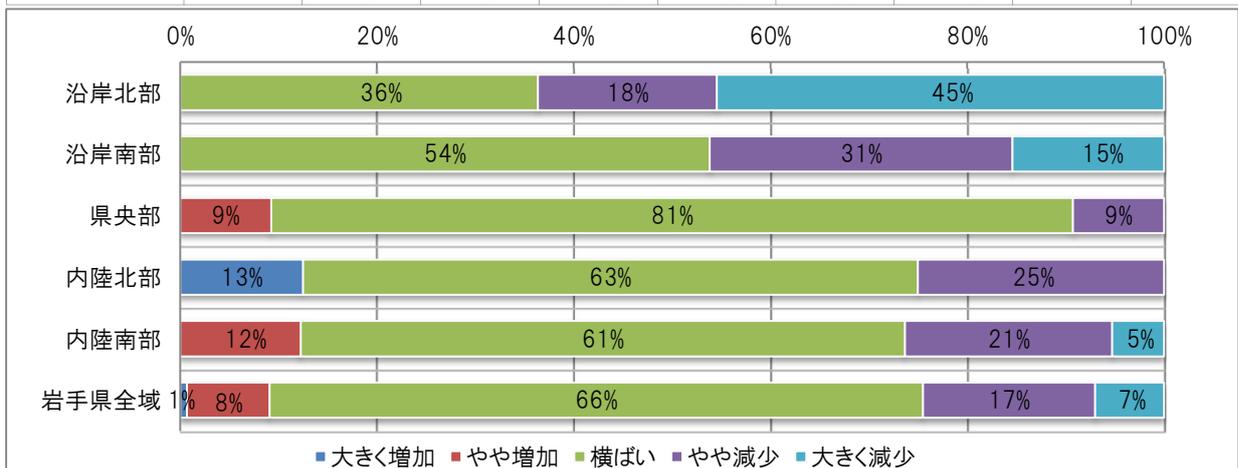
【住宅地】

エリア	動向指数	大きく増加	やや増加	横ばい	やや減少	大きく減少	小計	不明 無回答	合計
沿岸北部	-40.9	0	2	1	5	3	11	0	11
		0%	18%	9%	45%	27%	100%		
沿岸南部	-32.1	0	1	5	6	2	14	0	14
		0%	7%	36%	43%	14%	100%		
県央部	0.6	0	15	51	14	0	80	4	84
		0%	19%	64%	18%	0%	100%		
内陸北部	6.3	1	2	3	1	1	8	2	10
		13%	25%	38%	13%	13%	100%		
内陸南部	-7.7	0	11	39	20	1	71	7	78
		0%	15%	55%	28%	1%	100%		
岩手県全域	-7.3	1	31	99	46	7	184	13	197
		1%	17%	54%	25%	4%	100%		



【商業地】

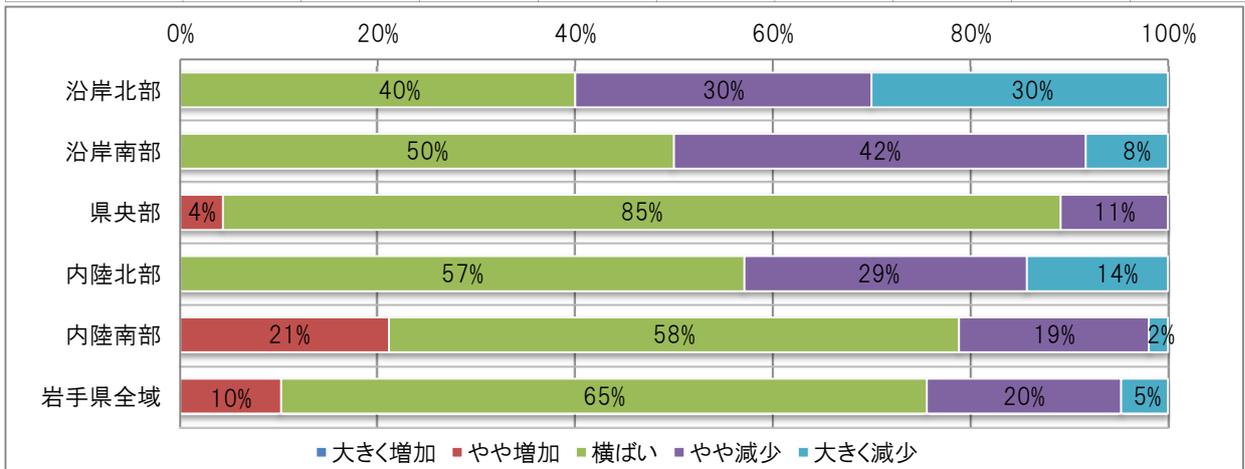
エリア	動向指数	大きく増加	やや増加	横ばい	やや減少	大きく減少	小計	不明 無回答	合計
沿岸北部	-54.5	0	0	4	2	5	11	0	11
		0%	0%	36%	18%	45%	100%		
沿岸南部	-30.8	0	0	7	4	2	13	1	14
		0%	0%	54%	31%	15%	100%		
県央部	0.0	0	5	44	5	0	54	30	84
		0%	9%	81%	9%	0%	100%		
内陸北部	0.0	1	0	5	2	0	8	2	10
		13%	0%	63%	25%	0%	100%		
内陸南部	-9.6	0	7	35	12	3	57	21	78
		0%	12%	61%	21%	5%	100%		
岩手県全域	-10.8	1	12	95	25	10	143	54	197
		1%	8%	66%	17%	7%	100%		



問6:6ヶ月後の取引件数の予測 ②

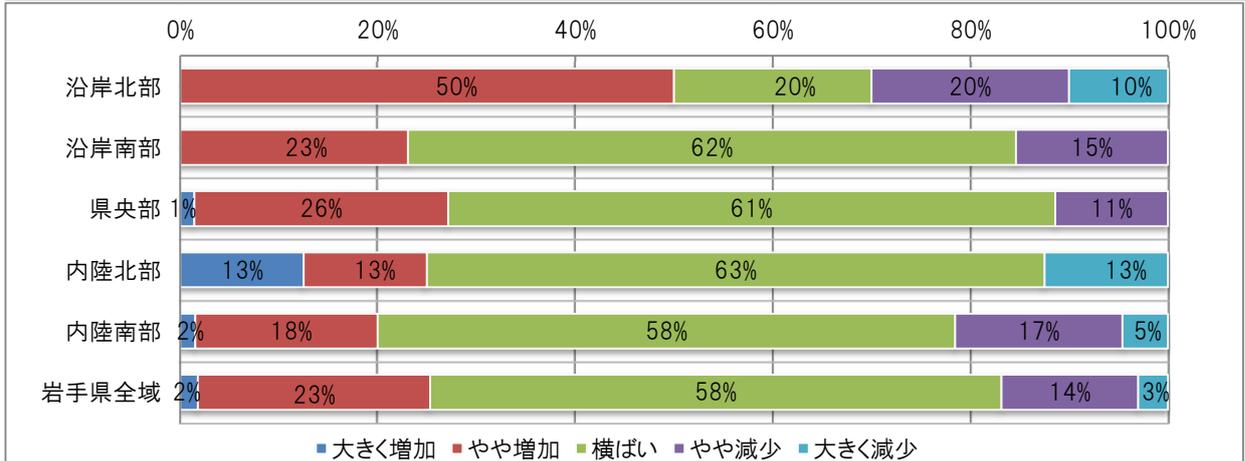
【産業用地】

エリア	動向指数	大きく増加	やや増加	横ばい	やや減少	大きく減少	小計	不明 無回答	合計
沿岸北部	-45.0	0	0	4	3	3	10	1	11
		0%	0%	40%	30%	30%	100%		
沿岸南部	-29.2	0	0	6	5	1	12	2	14
		0%	0%	50%	42%	8%	100%		
県央部	-3.3	0	2	39	5	0	46	38	84
		0%	4%	85%	11%	0%	100%		
内陸北部	-28.6	0	0	4	2	1	7	3	10
		0%	0%	57%	29%	14%	100%		
内陸南部	-1.0	0	11	30	10	1	52	26	78
		0%	21%	58%	19%	2%	100%		
岩手県全域	-9.4	0	13	83	25	6	127	70	197
		0%	10%	65%	20%	5%	100%		



【中古住宅】

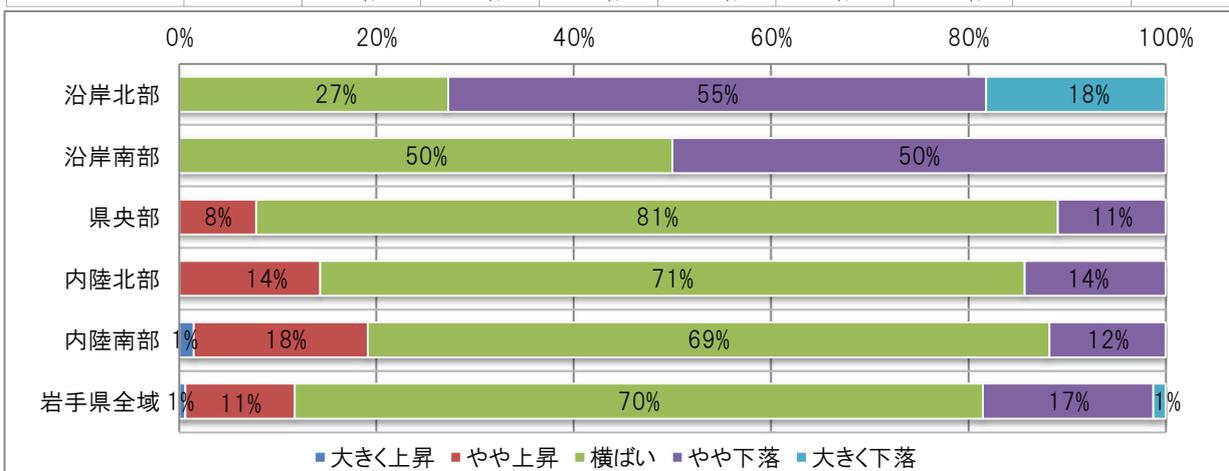
エリア	動向指数	大きく増加	やや増加	横ばい	やや減少	大きく減少	小計	不明 無回答	合計
沿岸北部	5.0	0	5	2	2	1	10	1	11
		0%	50%	20%	20%	10%	100%		
沿岸南部	3.8	0	3	8	2	0	13	1	14
		0%	23%	62%	15%	0%	100%		
県央部	8.6	1	18	43	8	0	70	14	84
		1%	26%	61%	11%	0%	100%		
内陸北部	6.3	1	1	5	0	1	8	2	10
		13%	13%	63%	0%	13%	100%		
内陸南部	-2.3	1	12	38	11	3	65	13	78
		2%	18%	58%	17%	5%	100%		
岩手県全域	3.6	3	39	96	23	5	166	31	197
		2%	23%	58%	14%	3%	100%		



問7:賃料の6ヶ月前(R4.4.1時点)との比較

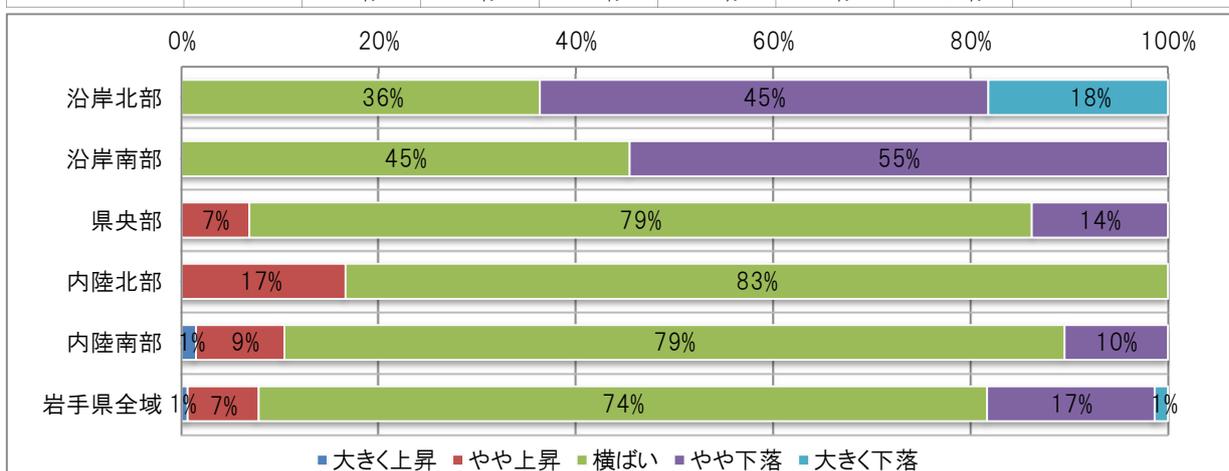
【住居系不動産】

エリア	動向指数	大きく上昇	やや上昇	横ばい	やや下落	大きく下落	小計	不明 無回答	合計
沿岸北部	-45.5	0	0	3	6	2	11	0	11
		0%	0%	27%	55%	18%	100%		
沿岸南部	-25.0	0	0	6	6	0	12	2	14
		0%	0%	50%	50%	0%	100%		
県央部	-1.6	0	5	52	7	0	64	20	84
		0%	8%	81%	11%	0%	100%		
内陸北部	0.0	0	1	5	1	0	7	3	10
		0%	14%	71%	14%	0%	100%		
内陸南部	4.4	1	12	47	8	0	68	10	78
		1%	18%	69%	12%	0%	100%		
岩手県全域	-3.7	1	18	113	28	2	162	35	197
		1%	11%	70%	17%	1%	100%		



【その他不動産】

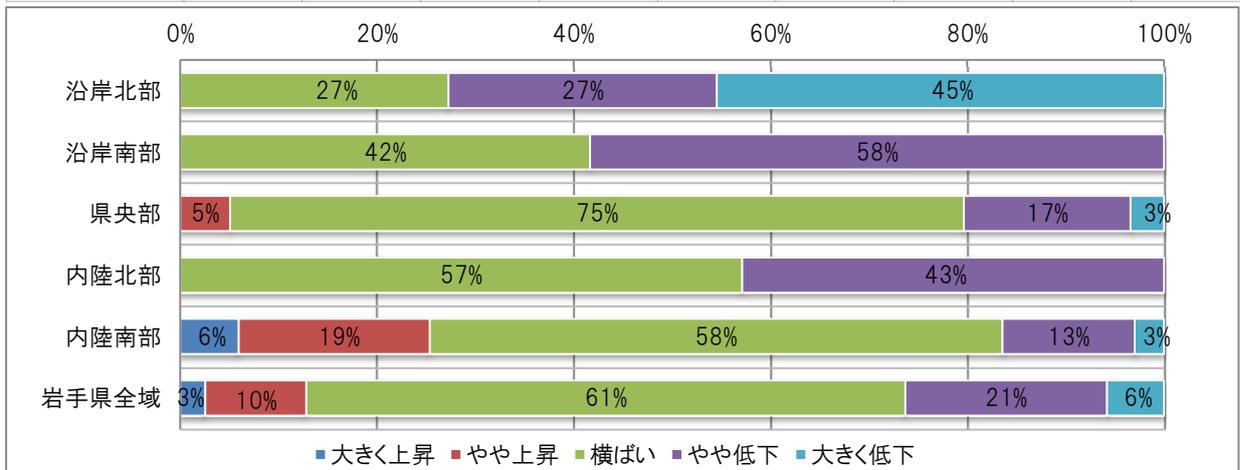
エリア	動向指数	大きく上昇	やや上昇	横ばい	やや下落	大きく下落	小計	不明 無回答	合計
沿岸北部	-40.9	0	0	4	5	2	11	0	11
		0%	0%	36%	45%	18%	100%		
沿岸南部	-27.3	0	0	5	6	0	11	3	14
		0%	0%	45%	55%	0%	100%		
県央部	-3.4	0	4	46	8	0	58	26	84
		0%	7%	79%	14%	0%	100%		
内陸北部	8.3	0	1	5	0	0	6	4	10
		0%	17%	83%	0%	0%	100%		
内陸南部	0.7	1	6	53	7	0	67	11	78
		1%	9%	79%	10%	0%	100%		
岩手県全域	-5.6	1	11	113	26	2	153	44	197
		1%	7%	74%	17%	1%	100%		



問8: 入居率の6ヶ月前(R4.4.1時点)との比較

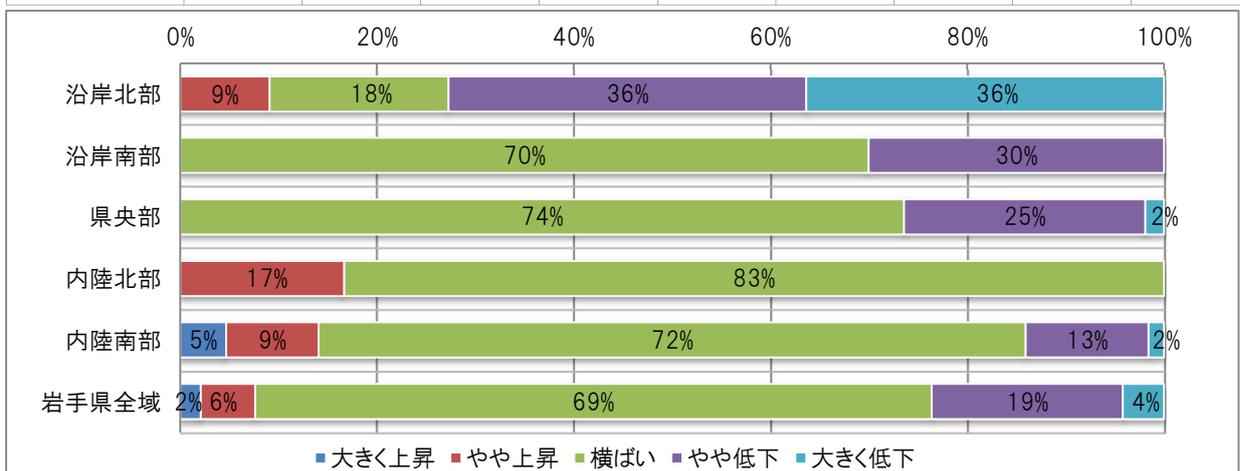
【住居系不動産】

エリア	動向指数	大きく上昇	やや上昇	横ばい	やや低下	大きく低下	小計	不明 無回答	合計
沿岸北部	-59.1	0	0	3	3	5	11	0	11
		0%	0%	27%	27%	45%	100%		
沿岸南部	-29.2	0	0	5	7	0	12	2	14
		0%	0%	42%	58%	0%	100%		
県央部	-9.3	0	3	44	10	2	59	25	84
		0%	5%	75%	17%	3%	100%		
内陸北部	-21.4	0	0	4	3	0	7	3	10
		0%	0%	57%	43%	0%	100%		
内陸南部	6.0	4	13	39	9	2	67	11	78
		6%	19%	58%	13%	3%	100%		
岩手県全域	-8.3	4	16	95	32	9	156	41	197
		3%	10%	61%	21%	6%	100%		



【その他不動産】

エリア	動向指数	大きく上昇	やや上昇	横ばい	やや低下	大きく低下	小計	不明 無回答	合計
沿岸北部	-50.0	0	1	2	4	4	11	0	11
		0%	9%	18%	36%	36%	100%		
沿岸南部	-15.0	0	0	7	3	0	10	4	14
		0%	0%	70%	30%	0%	100%		
県央部	-14.2	0	0	39	13	1	53	31	84
		0%	0%	74%	25%	2%	100%		
内陸北部	8.3	0	1	5	0	0	6	4	10
		0%	17%	83%	0%	0%	100%		
内陸南部	1.6	3	6	46	8	1	64	14	78
		5%	9%	72%	13%	2%	100%		
岩手県全域	-9.0	3	8	99	28	6	144	53	197
		2%	6%	69%	19%	4%	100%		



## お問い合わせ窓口

一般社団法人 岩手県不動産鑑定士協会

調査研究委員長 貝原 敦（不動産鑑定士）  
（所属） 一般財団法人 日本不動産研究所 盛岡支所  
〒020-0026 盛岡市開運橋通1番1号アクア盛岡ビル3F  
電話019-652-1821 FAX019-654-2845

調査研究委員 新沼 輝雄（不動産鑑定士）  
（所属） 新沼不動産鑑定事務所  
〒020-0873 盛岡市松尾町1-7  
電話019-613-9292 FAX019-613-9293

調査研究委員 佐々木 健一（不動産鑑定士）  
（所属） Greo  
〒020-0015 盛岡市本町通3-8-9-606  
電話070-8521-0738 FAX050-3588-7368

### 一般社団法人 岩手県宅地建物取引業協会の概要

団体名： 一般社団法人 岩手県宅地建物取引業協会  
代表者名： 会長 多田 幸司  
発足： 昭和42年7月  
会員数： 586会員（準会員を含む）  
所在地： 盛岡市前九年1-9-30  
電話番号： 019-646-1111

### 公益社団法人 全日本不動産協会岩手県本部の概要

団体名： 公益社団法人 全日本不動産協会岩手県本部  
代表者名： 本部長 浅沼 儀洋  
発足： 昭和36年11月  
会員数： 130会員  
所在地： 盛岡市八幡町1番9-101  
電話番号： 019-625-5900

### 一般社団法人 岩手県不動産鑑定士協会の概要

団体名： 一般社団法人 岩手県不動産鑑定士協会  
代表者名： 会長 東野 成紀  
発足： 平成21年4月  
会員数： 不動産鑑定士26名、不動産鑑定業者24社  
所在地： 盛岡市大通1-3-4 宏陽ビル6階  
電話番号： 019-604-3070

※ 無断複製転載を禁じます。